みよし市スポーツ推進計画

「みんなでスポーツ　いいじゃんみよし」
～スポーツで築く豊かなみよしライフ～

（改訂版）

令和３年３月

みよし市教育委員会

はじめに

近年の都市化、情報化社会の進展、労働形態の変化などにより利便性が向上し、より快適な生活ができるようになった半面、身体を動かす機会が減少し、子どもたちの体力は低下傾向にあると言われています。また、成人の週1回以上のスポーツ実施率も５割に満たないといったデータもあり、運動不足により心身の健康を維持することができない人も増えています。

スポーツを行うことは、心身の健康を維持し、体力の増進に寄与するだけでなく、身体を動かすことで爽快感や達成感、満足感を得て、ストレスを解消し心を安定させることができます。
生涯にわたりスポーツを行うことで市民の健康寿命を延伸し、いつまでも健康で明るく豊かな生活が送ることができるよう取り組みが求められています。

平成23年8月に施行されたスポーツ基本法では、昭和36年に制定されたスポーツ振興法を50年ぶりに全面改正するもので、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利である」とうたっています。また、平成27年10月にはスポーツを通じ「国民が生涯にわたり心身ともに健康的で文化的な生活」を営むことができるスポーツ立国の実現のため、スポーツ庁が発足されました。

本市では、平成18年から「スポーツ振興基本計画」に沿ってスポーツ振興を図ってまいりました。その後、平成28年から令和7年までを対象とした新たな「スポーツ推進計画」を策定しました。

このたび、本計画の中間年における見直しを行うにあたり、東京オリンピック・パラリンピック、愛知・名古屋での2026年アジア競技大会の開催や平成29年3月に策定された国の「第2期スポーツ基本計画」を参酌し、パブリックコメントによる市民意見の募集など、近年の社会環境や価値観、市民のスポーツに対する意識の変化を踏まえ、みよし市スポーツ推進審議会における審議を経て改訂を行いました。

今後も引き続き、本計画の基本理念「みんなでスポーツ　いいじゃんみよし　～スポーツで築く豊かなみよしライフ～」をもとに、多くの市民が生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりを進めるとともに、生涯スポーツ、競技スポーツ並びに障がい者スポーツの発展を目指してまいります。

令和3年3月

みよし市教育委員会

目　次

●第１章　計画の策定にあたって

1．スポーツの意義 …… 1
2．国・愛知県のスポーツ推進 …… 2
3．みよし市におけるスポーツ推進計画策定の趣旨 …… 3
4．スポーツ推進計画の位置づけ …… 4

●第２章　市のスポーツ推進の現状と課題

1．みよし市の概要 …… 5
2．スポーツに関する現状と課題 …… 6
(1) 行うスポーツ …… 8
(2) 観るスポーツ …… 12
(3) 支えるスポーツ …… 13
(4) スポーツ施設 …… 14

●第３章　基本理念

1．基本理念と目標、計画期間 …… 17
(1) 基本理念 …… 17
(2) 基本目標（数値目標） …… 17
(3) 計画期間 …… 22

●第４章　スポーツ推進計画の施策

1．行うスポーツの推進 …… 23
(1) 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 …… 23
(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 …… 25
(3) 市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備 …… 27
(4) 学校と総合型地域スポーツクラブが連携した子どものスポーツ環境の整備 …… 29
(5) 競技力の向上を目指す取組の推進 …… 29
2．観るスポーツの推進 …… 31
(1) 全国大会などの開催 …… 31
(2) トップスポーツの試合観戦の推進 …… 31
3．支えるスポーツの推進 …… 32
(1) 指導者の養成 …… 32
(2) ボランティアの育成 …… 32
(3) スポーツ情報の提供 …… 33
4．スポーツ環境の整備 …… 33
5．スポーツ交流と連携 …… 35

●資　料

1．令和２年度スポーツ活動に関するアンケート調査結果の概要 …… 36
2．生涯スポーツ、健康・体力つくりのあゆみ …… 46
3．公共スポーツ施設一覧 …… 56
4．パブリックコメントの結果について …… 58
5．みよし市スポーツ推進計画改正版策定の経緯 …… 58
6．みよし市スポーツ推進審議会委員名簿 …… 59

第1章　計画の策定にあたって

1 スポーツの意義

スポーツに親しむことによって、体を動かすという人間の本源的な欲求を満たすとともに、爽快感や他者との連帯感、精神的な充足を図り、体力の向上、ストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康保持に大きな効果を得ています。

生涯スポーツとは、全ての人々がそれぞれの目的や体力、年齢に応じてスポーツを生涯にわたって楽しむことです。日常生活の中にスポーツを積極的に取り入れ、親しみ楽しむことは、市民一人一人の健康づくりや体力つくりに大きく役立ちます。

また、高齢化や都市化が進展し、ライフスタイルが多様化するなか、生きがいのある豊かな暮らしをしていくためにも生涯スポーツ推進の必要性がますます高まっています。

さらに、スポーツは青少年の健全育成や地域コミュニティの活性化など活力あるまちづくりにおいても重要な役割を担い、極めて大きな意義を果たすものです。

本市においては、市民憲章の一つに、「しあわせな家庭をつくり、スポーツに親しみ、青少年の伸びるまちにしましょう」を掲げ、スポーツを通した青少年の健全育成と体育祭や各種スポーツイベントを通した地域コミュニティの形成を積極的に進めています。

みよし市民憲章

わたしたちは、恵まれた自然と郷土を愛し、自らの手でここをいっそう生きがいのある住みよいまちにするために、この憲章を定めます。

1、あふれるばかりの緑と花を育て　川をきれいにし
　うるおいのある美しいまちにしましょう
1、しあわせな家庭をつくり　スポーツに親しみ
　青少年の伸びるまちにしましょう
1、教養をかため　知性をみがき　かおり高い
　文化のまちにしましょう
1、誇りと創意をもって仕事に励み　調和のとれた
　豊かなまちにしましょう
1、進んできまりを守り　互いに信じあえる
　明るいまちにしましょう

2 国・愛知県のスポーツ推進

国は、昭和36年に制定した「スポーツ振興法」を約50年ぶりに全部改正し、平成23年8月24日に「スポーツ基本法」を施行しました。平成29年3月には同法に基づく「第2期スポーツ基本計画」が策定されました。この法律は、全ての国民にスポーツを楽しむ権利「スポーツ権」を認めるとともに、地域スポーツクラブの支援や障がい者スポーツの支援等の基本的な方向性を示しています。

また、これまで複数の省庁がそれぞれ行っていたスポーツ行政を一元的に担い、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた選手強化やスポーツを通じた地域振興・国際交流などに取り組むため、平成27年10月1日に、文部科学省外局の「スポーツ庁」が設置されました。

愛知県では、「いきいきあいちスポーツプラン（平成30年3月改訂）」のもと、県民一人一人がそれぞれのライフステージや興味・関心等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、活力ある「スポーツ愛知」を実現することを趣旨とし、5年先を見据え、4つの基本施策で進めています。

【基本施策】いきいきあいちスポーツプラン（愛知県）

①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
④競技力の向上を目指す取組の推進

みよしレクリエーションスポーツフェスタ
（健康吹矢）

※スポーツ基本法の理念は「スポーツを通じて『国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む』ことができる社会実現」であり、スポーツ庁はSDGs（持続可能な開発目標）の達成にスポーツで貢献しようと、社会におけるスポーツの価値のさらなる向上に取り組むことを表明しています。
（出典：スポーツ庁「関係省庁と連携したスポーツ行政の総合的な推進」）

3 みよし市におけるスポーツ推進計画策定の趣旨

本市は、平成22年1月4日に市制施行を行い、「三好町」から「みよし市」に移行し、平成31年3月に策定した「第2次みよし市総合計画」に基づきまちづくりを進めています。また、教育行政の指針となっているのが、「みよし市教育振興基本計画」です。「スポーツ推進計画」はこの二つの上位計画に基づき、市民のスポーツの振興について、平成26・27年度の2か年をかけて「行うスポーツ」、「観るスポーツ」、「支えるスポーツ」、「スポーツ環境の整備」、「スポーツの交流と連携」を5本の柱にして、平成28年3月に策定し、平成28年4月から令和8年3月までの10年間を計画期間として推進するものです。

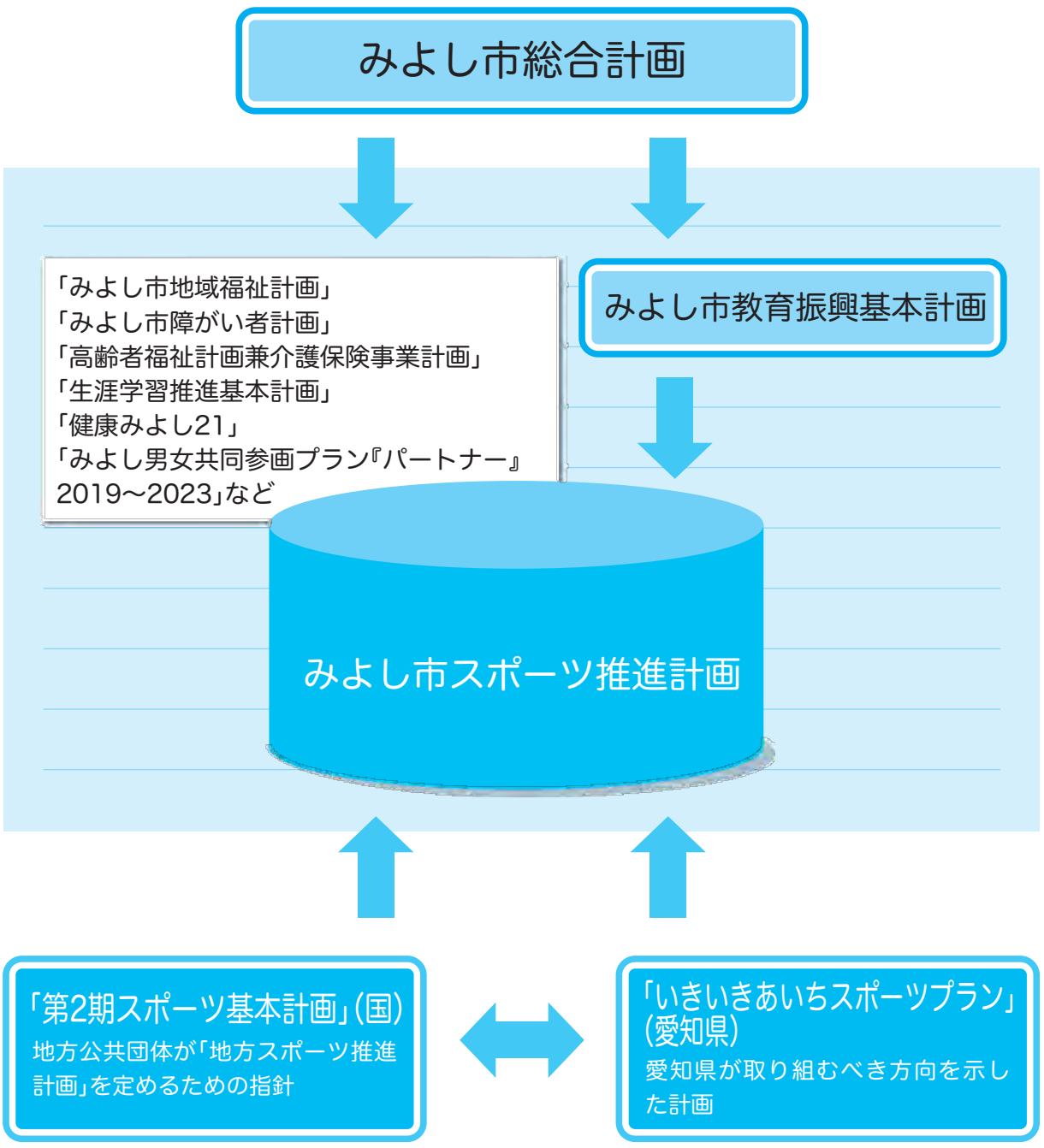
総合計画では、基本目標２「健康で生き生きと暮らせるまち」の取組方針２「生涯にわたって健康に暮らせるまちにしよう」に「①スポーツ活動の支援」、「②総合型地域スポーツクラブの育成」「③スポーツ指導者の養成」「④スポーツ施設・設備の整備」、以上4つを主な取組として定めています。一方、教育振興基本計画ではⅡ「生涯にわたって学び続ける市民を応援する」の２「生涯スポーツを推進する」に位置付け、市民のスポーツの活性化を図っています。

新春みよし市マラソン駅伝大会

みよし市体育祭
（地区対抗競技　綱引き）

4 スポーツ推進計画の位置づけ

本市のスポーツ推進計画は、下図のとおり国の「第2期スポーツ基本計画」及び愛知県の「いきいきあいちスポーツプラン」を参考にするとともに、「みよし市総合計画」、「みよし市教育振興基本計画」を踏まえつつ、「生涯学習推進基本計画」、「みよし地域福祉計画」などとの整合性や関係部署との連携を図りながら、生涯スポーツを計画的に推進するものです。



第2章　市のスポーツ推進の現状と課題

1 みよし市の概要

みよし市は愛知県のほぼ中央にある総面積32.19㎢、人口6万1千人のまちです。中京圏の中心都市名古屋市と車のまち豊田市の中間に位置し、恵まれた立地条件から、名古屋市のベッドタウンとして発展する一方で、自動車産業を中心とした工業は高い生産力を誇っています。また、大型ショッピングセンターを中心にした商業は近隣地区からの集客力も高く、都市近郊農業として果樹栽培が盛んで、「柿・梨・ぶどう」は市の特産品になっています。

現在のみよし市の前身である三好村が誕生したのが明治末期で、昭和33年4月に町制（「三好町」）の施行、平成22年1月に市制（「みよし市」）を施行し、着実な発展をしてきました。市では、スポーツを通じた市民交流と豊かなコミュニティづくりに早くから取り組み、恒例の体育祭やマラソン駅伝大会、ソフトボール大会では、地域対抗競技を実施しています。加えて、行政区又は地区コミュニティ推進協議会が実施する様々なスポーツイベント「地区体力つくり事業」に対し、補助金を交付しスポーツ振興を図っています。

現在、市スポーツ協会には18連盟が加盟し、総合型地域スポーツクラブは3団体あり、市内全地域で活動しています。また、平成6年の「わかしゃち国体」を契機に「カヌーのまちみよし」を掲げカヌースポーツを通した青少年の健全育成を進める一方、Jリーグの名古屋グランパス、Vリーグのトヨタ自動車サンホークス、ソフトテニスのアドマテックス・スフィアーズ、ラグビーのトヨタ自動車ヴェルブリッツのホームタウンにもなっています。

保田ヶ池カップカヌーポロ大会

2 スポーツに関する現状と課題

みよし市では、スポーツの普及・推進を支える各種団体が活動を行っています。みよし市スポーツ推進委員会は、市民へのスポーツ指導やニュースポーツの研究・普及を行っています。また、地区スポーツ委員は、各行政区でのスポーツイベントを主管するとともに、みよし市主催の体育祭、マラソン駅伝大会、地域対抗ソフトボール大会などの運営や市との連絡調整を行っています。

市が支援するスポーツ団体として、みよし市スポーツ協会、スポーツ少年団、みよし市カヌー協会、みよし市ウォーキング協会があり、市と連携してみよし市のスポーツ推進を担っています。

三好池では、1994（平成6）年に国民体育大会のカヌー競技（レーシング）、保田ヶ池では、2004（平成16）年に世界カヌーポロ選手権大会を開催し、競技力の向上を図っています。また、子どもから高齢者まで幅広い年代の人が楽しむことができるＥボートの交流会を行うなど、水辺を生かしたスポーツの振興を図っています。

さらに、地域の住民が参画して運営する三つの総合型地域スポーツクラブ「なかよしクラブ（平成16年設立）」、「三好さんさんスポーツクラブ（平成19年設立）」、「三好ともいきスポーツクラブ（平成28年設立）」は、地域に根付いた活動をしています。

スポーツ推進計画の策定には、このような市におけるスポーツの普及・推進の現状を捉えるとともに、市民のスポーツ実施状況を把握するため市民1,000人を対象に「スポーツ活動に関するアンケート調査」を実施し、その結果を検証しています。

そして、2008（平成20）年からは、子どもから高齢者、障がい者まで、いつでも、どこでも、誰でもできるレクリエーションスポーツのカローリングを推進し、スポーツ推進委員により交流会の開催や出前指導など普及を図っています。

カローリング交流会

市は、2011（平成23）年10月に名古屋グランパス、2017（平成29）年10月にトヨタ自動車サンホークス、2018（平成30）年7月にアドマテックス・スフィアーズ、2020（令和2）年10月にトヨタ自動車ヴェルブリッツ、それぞれのホームタウンパートナーとなりました。これにより、それぞれのチームと協働で、市民にスポーツの楽しさを伝える活動を積極的に展開できるようになりました。

また、市が友好提携した北海道士別市との相互交流では、少年野球団主体により平成10年度から士別市少年野球団を毎年受入れ、平成14年度からはみよし市から士別市へ少年スポーツ交流団（野球）を派遣するようになり、少年野球団同士の交流が継続しています。

そして、平成11年度からスポーツ交流団（サッカー）の小学生を毎年派遣し、また士別市の子どもたちを隔年で受け入れていました。そして、これまでの交流の成果により平成26年度からは毎年交流するまでになり、更に交流が深まりを見せています。

以上のようにさまざまなスポーツ活動を進める本市にあって、平成17年度に策定した「スポーツ振興基本計画」の目標数値や平成27年度に新たに策定した「スポーツ推進計画」と前計画との比較、平成28年から令和2年までの進捗状況、状況アンケート調査結果の比較等から、（1）行うスポーツ、（2）観るスポーツ、（3）支えるスポーツ、（4）スポーツ施設、以上4項目の現状と課題を分析します。

みよしレクリエーションスポーツフェスタ（キンボール）

(1)　行うスポーツ

ア　行うスポーツの現状

国は、できる限り早期に、成人の週１回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65％程度）となることを目指しており、また、愛知県も成人の週1回以上のスポーツ実施率が65％に近づくよう目指しています。

市が平成27年度に実施したアンケート調査では、市民全体を対象に1年間で週1回以上定期的にスポーツを実施した人の割合は47.7％であったのに対し、令和2年度のアンケート調査では、49.2％となり、1.5ポイント増加しました。

「この1年間で何らかの運動やスポーツを実施した割合は」という質問に対し平成27年度は78.6％でありましたが、令和2年度は73.2％と減少しました。

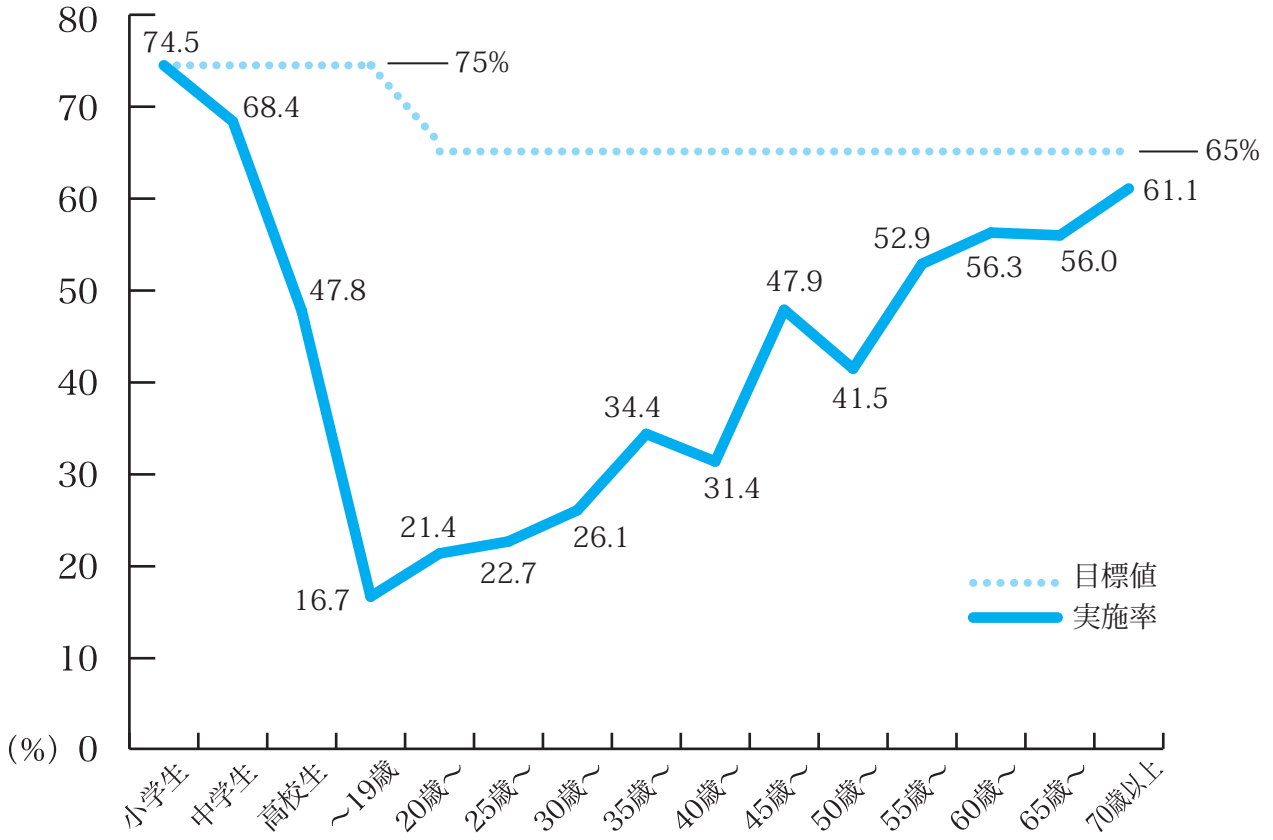
また、1年間スポーツ活動を行っていない人の割合では、平成27年度は16.6％であったのに対し、令和2年度は26.6％とスポーツを実施しなかった人の割合は大きく増加しています。スポーツをしなかった理由として、「仕事（家事・育児）が忙しいから」、「機会がなかった」と「特に理由はない」の順で、主な理由となっています。

表１　スポーツ実施状況　　単位：％

	平成27年度(A)	令和2年度(B)	比較(B－A)
週1回以上実施している	47.7	49.2	1.5
定期的ではないが実施した	30.9	24.0	－6.9
1年間実施していない	16.6	26.6	10.0
未回答	4.8	0.2	－4.6

＜平成27年度・令和2年度のスポーツ活動に関するアンケート調査より＞

表２　年齢別スポーツ実施状況（週１回以上）



＜令和2年度のスポーツ活動に関するアンケート調査より＞

令和2年4月1日現在でみよし市スポーツ協会は18加盟団体（種目）4,786人が活動をしています。加盟団体は、各種教室や大会を通じて競技スポーツの推進を図るとともに指導者の育成にも努めています。また、スポーツ少年団は13加盟団体403人が活動をしています。

また、夜間の学校体育施設を利用し、体力の向上とスポーツ推進を目的に活動を行っている学校体育施設スポーツ開放事業には令和2年度は112団体2,149人が登録しています。その活動は、小中学生を対象としたスポーツ教室や競技団体・スポーツ愛好家が集うサークル活動など多種多様であります。スポーツ開放事業における令和元年度年間活動延べ人数は59,231人となり、施設の有効利用とともに、地域におけるスポーツ推進の中心を担っています。

総合型地域スポーツクラブは、地域におけるスポーツ推進の中心的役割を担ってきており、市が設立及び育成の支援に力を注いでいます。なかよし地域（三好中学校区）を活動拠点とし平成16年に設立した「なかよしクラブ」は、会員数が250人から現在では1,031人にまで成長してきました。

みなよし地域（南中学校区）を活動拠点とし平成19年に設立した「三好さんさんスポーツクラブ」は、会員数が297人から650人まで成長しています。

きたよし・おかよし地域（北中・三好丘中学校区）に市内３つ目のクラブとして平成28年度に設立した「三好ともいきスポーツクラブ」も会員数が169人から190人となり成長を続けています。

以上の結果を比較していずれの団体も活発な活動が進められており、概ね目標は達していると判断できます。

表３　スポーツ団体の状況

団体	平成27年度	令和2年度	備考
みよし市スポーツ協会	18加盟団体 5,202人	18加盟団体 4,786人	昭和37年度 設立
みよし市スポーツ少年団	13団体 437人	13団体 403人	昭和61年度 設立
みよし市カヌー協会	17団体 412人 審判109人	20団体 494人 審判93人	平成4年度 設立
学校体育施設スポーツ開放	85団体 1,824人	112団体 2,149人	昭和51年度 開始
総合型地域スポーツクラブ なかよしクラブ	942人	※1,031人	平成16年度 設立 250人
総合型地域スポーツクラブ 三好さんさんスポーツクラブ	631人	※650人	平成19年度 設立 297人
総合型地域スポーツクラブ 三好ともいきスポーツクラブ	—	※190人	平成28年度 設立 169人

＜みよし市スポーツ行政概要より＞　　※は令和元年度数値

イ　行うスポーツの課題

成人の週1回以上のスポーツ実施率を見ると、令和2年度では45.8％というアンケート結果になりました。

表２「年齢別スポーツ実施状況（週1回以上）」のアンケート結果から、20歳代、30歳代、40歳代の人は、スポーツ実施率が低い傾向にあります。働き盛りの年代（20歳代から40歳代）の人に運動の大切さをＰＲできるか、また、介護予防、医療費削減の観点から高齢者の運動を習慣づける方法について、取り組む必要があると考えます。

全国的に見ると子どもの体力は、昭和60年代頃から低下傾向が続いています。近年は積極的にスポーツを行う子どもと行わない子どもの二極化が顕著になっています。

市のアンケート結果を見ると未成年者の週1回以上のスポーツ実施率は63.2％という結果が出ていますが、子どもが幼児期から運動に親しむ習慣を身に付けられるよう学校や地域においてスポーツの充実を図らなければなりません。また、学校部活動においても子どもが選択するにあたり種目が少ないことも問題の一つになっており、スポーツ環境の整備が必要と考えられます。

また、障がいのある人にとってのスポーツ活動は、リハビリテーション効果、すなわち、障がいの進行の予防や軽減、現存している機能の向上に効果があるばかりでなく、社会参加の増加や、社会活動への自信の回復、積極的で豊かなライフスタイルの獲得のほか、障がいのある人の活動に対する社会の認知度を上げる効果があります。

障がいの有無にかかわらず、生涯続けられるスポーツ実施の機会づくりが必要です。

みよし市体育祭（年齢別リレー）

⑵　観るスポーツ

ア　観るスポーツの現状

市では、「観るスポーツ」の数値目標を「年1回の頻度で、競技場などに行きスポーツ観戦を行う者の割合を40％以上となるよう目指す」とし、名古屋グランパスをはじめとするホームタウンパートナーの公式試合のPRなど「観るスポーツ」を推進してきました。週１回以上定期的に観戦した人の割合は、平成27年度は3.9％であったのに対し令和2年度は3.0％となりました。

定期的ではないが観戦した人の割合についても、平成27年度の28.3％が、令和2年度は20.7％と減少していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止措置による大会、公式戦などの延期、中止が大きな要因と考えられます。

また、テレビなどにおけるスポーツ観戦については、日常的・定期的に観戦した人は21.9％、公式戦・大会等不定期に観戦した人は43.7％となっており、スポーツに対する関心はあると言えます。

表４　スポーツ観戦状況　　単位：％

	平成27年度(A)	令和2年度(B)	比較(B－A)
定期的に観戦した(週1回以上)	3.9	3.0	－0.9
定期的ではないが観戦した。	28.3	20.7	－7.6
スポーツ観戦を行っていない	64.1	76.3	12.2
わからない・未回答	3.7	0	－3.7

＜平成27・令和2年度のスポーツ活動に関するアンケート調査より＞

イ　観るスポーツの課題

スポーツ実施率を向上させる方法として「観るスポーツ」の推進が、スポーツを実施するきっかけづくりになると考えられます。

競技水準の高い試合観戦や代表選手・プロ選手などトップアスリートとのふれあう機会をつくり、スポーツに興味を持たせることが必要と考えます。

トップレベルの公式戦や大会などの開催に対応できる市内の施設は限られていますが、近隣及び市内で開催されるホームタウンパートナーのホームゲーム公式戦や大会を周知することで、その機会づくりの一つとできると考えられます。

Ｖリーグディビジョン２男子（Ｖ２MEN）
トヨタ自動車サンホークス公式戦ホームゲームを開催（総合体育館アリーナ）

⑶　支えるスポーツ

ア　支えるスポーツの現状

市のイベントである体育祭やマラソン駅伝大会は、学校や地域その他多くのボランティアの協力を得て運営しています。スポーツイベントボランティア登録制度があり、公募により市民や事業所の従業員が登録制度に参画し、レクリエーションスポーツのイベントなどでも活躍しています。

みよし市スポーツ協会は、競技団体等を支える指導者の資質向上を目指し、指導者向けの講習会を開催しています。

また、アンケートの結果、日常的・定期的にスポーツ指導やボランティア活動を行った人の割合は、平成27年度は1.7％であったのに対し、令和2年度は1.0％とやや減少しています。

イベントや大会で不定期に行った人の割合は、平成27年度は5.1％であったのに対し、令和2年度は4.9％と同水準です。

ボランティア等を実施しなかった人の割合は、平成27年度は87.5％でしたが、令和2年度は93.7％となりました。この結果を踏まえて、市民のボランティア活動に対する意識は低いままであると推測されます。

イ　支えるスポーツの課題

ボランティア活動に対する意識の低さは、以前から継続した問題で、それぞれの種目団体等が抱える問題の一つが、指導者不足と高齢化であると考えられます。スポーツ実施率の高い小学生・中学生・高校生の年代は、競技者としてスポーツを行いますが、彼らが成人し、就職するようになると種目から離れていく傾向にあり、計画的に指導者の養成を行うことができていないと思われます。種目団体の安定した運営を構築するため、競技者の中から次の指導者をどう育成していくかが課題となります。

また、子どもを対象としたスポーツ教室を実施する競技団体や総合型地域スポーツクラブの指導者の確保、養成が重要となります。良い指導者の確保が組織の継続につながるため、指導者を養成する体制が課題となっています。

⑷　スポーツ施設

ア　スポーツ施設の現状

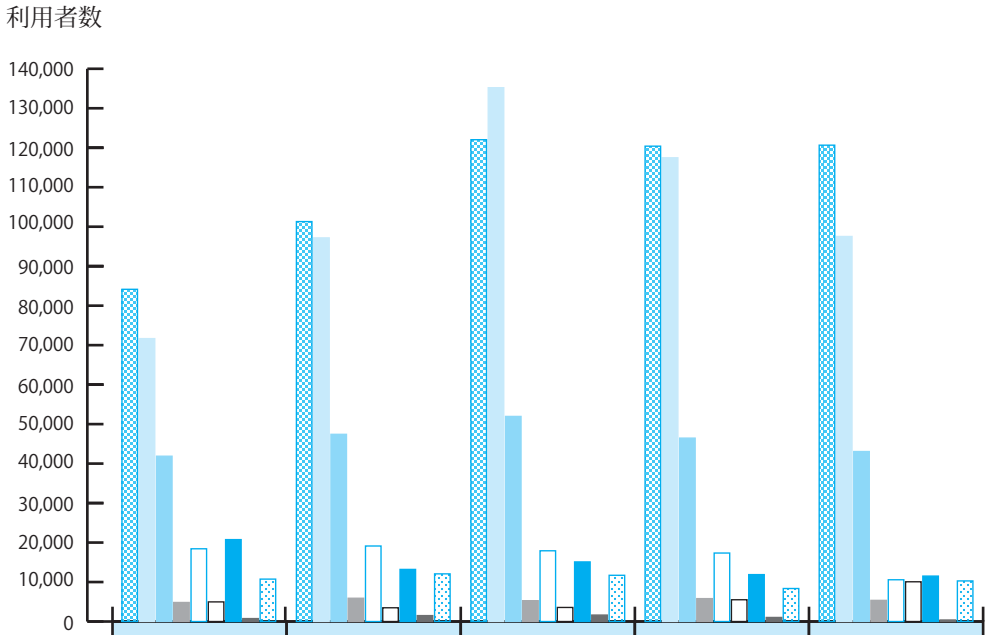
スポーツ活動を行う場所として公共スポーツ施設が重要な役割を担っています。三好公園の陸上競技場は昭和43年に、弓道場は昭和44年に、野球場は昭和46年に、勤労者体育センターは昭和53年に、総合体育館は昭和59年に、三好池カヌーセンターは平成7年にそれぞれ開所した施設です。

令和元年度の三好公園屋外体育施設及び総合体育館の1日の平均利用者数は713人、きたよし地区体育施設（三好丘・三好丘桜・黒笹公園）の1日平均利用者数は141人、社会体育施設（旭グラウンド・きたよしグラウンド・ゲートボールグラウンドゴルフ場・太陽の広場）の1日平均利用者数は109人です。

また、学校体育施設スポーツ開放で、市内小中学校体育館、武道場を利用した人は、令和元年度で59,231人となっています。

各スポーツ施設の利用者は5年前と比較して、屋内施設は増加傾向にあります。これは、近年健康志向の強まったことや体育館トレーニングルームの改修など施設整備を実施したことが要因と考えられます。屋外施設については平成29年度から減少しており、夏季の猛暑により自粛されたことが要因と考えられます。

表５　年度別体育施設利用状況



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
三好公園屋内施設	84,145	101,298	122,038	120,399	120,650
三好公園屋外施設	71,656	97,166	135,204	117,457	97,525
三好丘桜・三好丘・黒笹公園	41,871	47,412	51,946	46,454	43,054
きたよしグランド	4,822	5,895	5,274	5,799	5,335
三好池カヌースプリント競技場	18,423	19,128	17,916	17,345	10,576
保田ヶ池公園カヌーポロ競技場	4,970	3,482	3,562	5,514	10,065
旭グラウンド	20,745	13,197	15,095	11,881	11,507
ゲートボール・グラウンドゴルフ場	746	1,500	1,635	1,029	387
太陽の広場	10,740	12,070	11,709	8,361	10,281

※平成27年10月テニスコート改修工事、平成28年12月にトレーニングルームの改修工事、
　令和元年11月にゲートボール・グラウンドゴルフ場整備工事を実施

＜平成27～令和2年度のみよし市スポーツ行政の概要より＞

イ　スポーツ施設の課題

市の総合運動施設である三好公園の屋外施設は、野球場、陸上競技場、弓道場、テニスコートで構成されています。改修されていない野球場、陸上競技場は利用者のニーズに沿った施設へ改修の検討が必要です。総合体育館は、昭和59年に開館し、30年以上が経過し建物・設備とも老朽化が進んでいるため、平成22年度から大規模な改修計画が進められています。

きたよし地区公園施設（三好丘・三好丘桜・黒笹公園）は、地元住民の憩いの場としての役割も大きく、スポーツ利用者とのすみ分けが課題です。

旭グラウンドは、子どもの人気スポーツであるサッカーの教室の拠点となっています。子どもたちを対象とし、サッカーを通した体力つくりと天然芝コートの管理と運用について効率的かつ適切な管理を含めた管理方法が求められています。

三好公園総合体育館トレーニング室（平成28年拡張）

第3章　基本理念

1 基本理念と目標、計画期間

(1)　基本理念

スポーツを行うことで市民がいつまでも健康を保持し、スポーツを観て感動し、スポーツを支え合う心が良好なコミュニケーションを生み出すまち「みよし」を目指します。子どもから高齢者・障がいのある人まで、みんながスポーツをすることで、楽しく豊かな人生が送れるよう、スポーツによる健康づくり・まちづくりを進め、行う・観る・支えるスポーツがみよし市民のライフスタイル（「みよしライフ」）になるよう、次のように基本理念を定めます。

みんなでスポーツ　いいじゃんみよし

～スポーツで築く豊かな　みよしライフ～

(2)　基本目標（数値目標）

○　基本目標

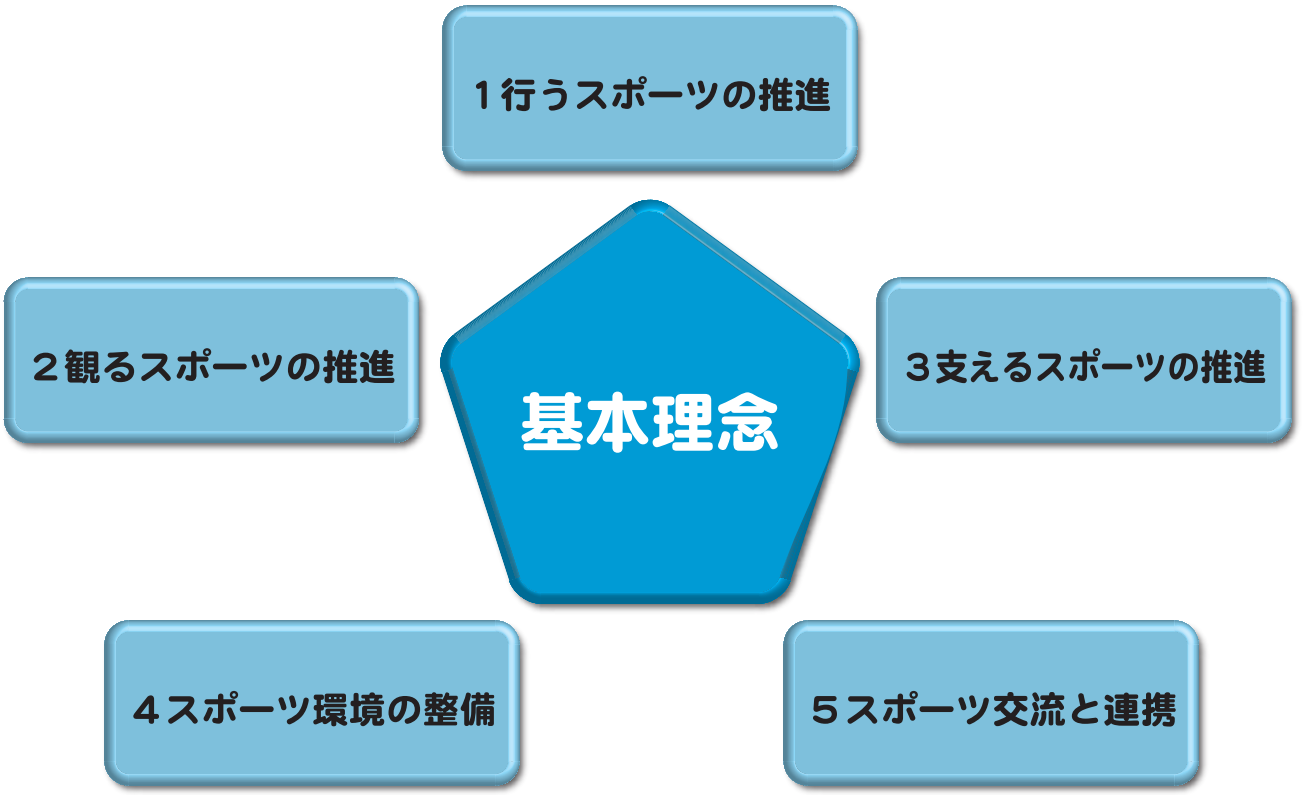
基本理念に掲げた健康づくり・まちづくりには、地域や親子三世代がみんなで一緒にスポーツに親しみ、スポーツを通じて家庭・地域のコミュニケーションづくりを図り、健康づくり・体力つくりにつながる取り組みが必要です。

幼少の頃からのスポーツを行う習慣と継続を促し、より多くの市民が自ら進んでスポーツに参加できる環境を整えます。

また、市民が安心して気軽にさまざまなスポーツに親しむためにスポーツ施設の整備を進めていきます。

そして、さらに多くの市民が参加し、楽しくコミュニケーションを図る交流の場を提供したり、みよし以外の地域の人達とのスポーツ交流の活性化を図ります。

こうした考え方から、以下に掲げる5項目を基本目標とし、今後の取り組みを進めていきます。



スポーツ教室（親子体操教室）

○　数値目標

①　行うスポーツの実施率

令和元年度に国が実施した「スポーツの実施状況等に関する世論調査」では、成人の週1回以上運動・スポーツを行う者の割合は53.6％でありました。愛知県は平成22年1月に実施した調査で45.5％でありました。

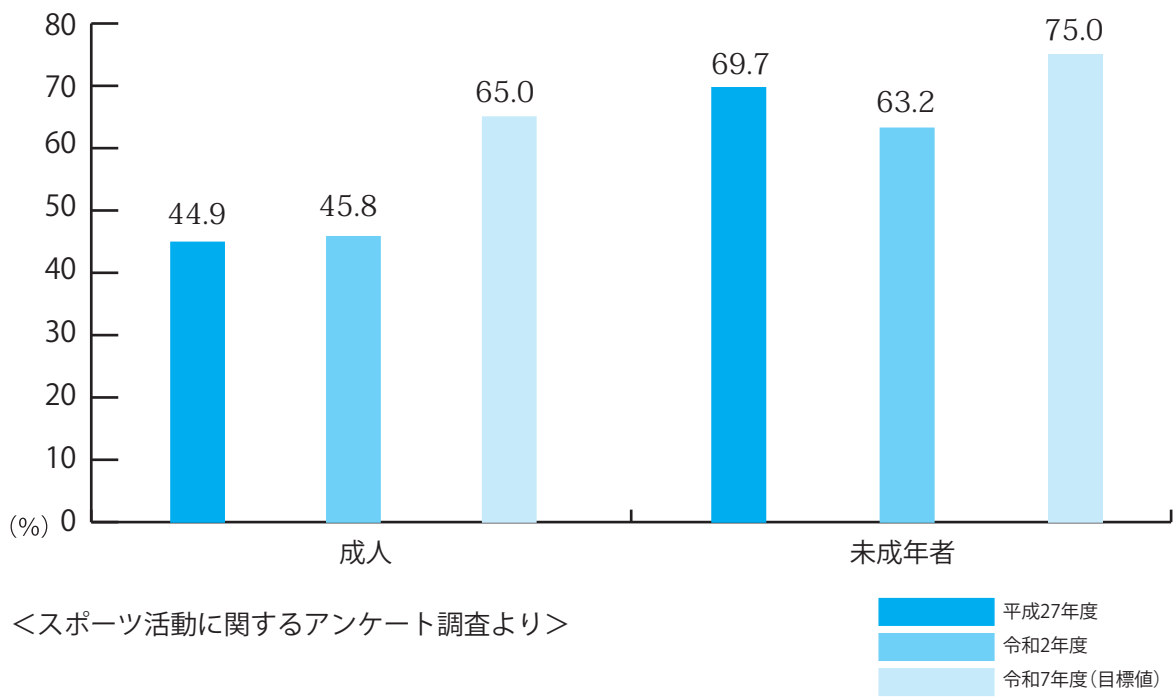
みよし市の令和2年度の全体対象のスポーツ実施率は49.2％で、成人のスポーツ実施率は45.8％であります。

成人の週１回以上スポーツを実施する割合の目標値は、国、愛知県とも65％と設定しています。本計画では、令和7年度の成人の週1回以上のスポーツ実施率を65％以上として目標値を定めます。

また、発育期から成人にいたる若い時期に運動・スポーツ習慣を身に付けることは、生涯にわたる健康な身体の獲得にもつながるものです。令和2年度、未成年者の週1回以上のスポーツ実施率は63.2％でした。本計画では、令和7年度の未成年者のスポーツ実施率は75％以上を目標値と定めます。

★成人の週1回以上の頻度でスポーツを行う者の割合が65％以上となるよう目指します。
★未成年者の週1回以上の頻度でスポーツを行う者の割合が75％以上となるよう目指します。

表６　スポーツ実施状況



＜スポーツ活動に関するアンケート調査より＞

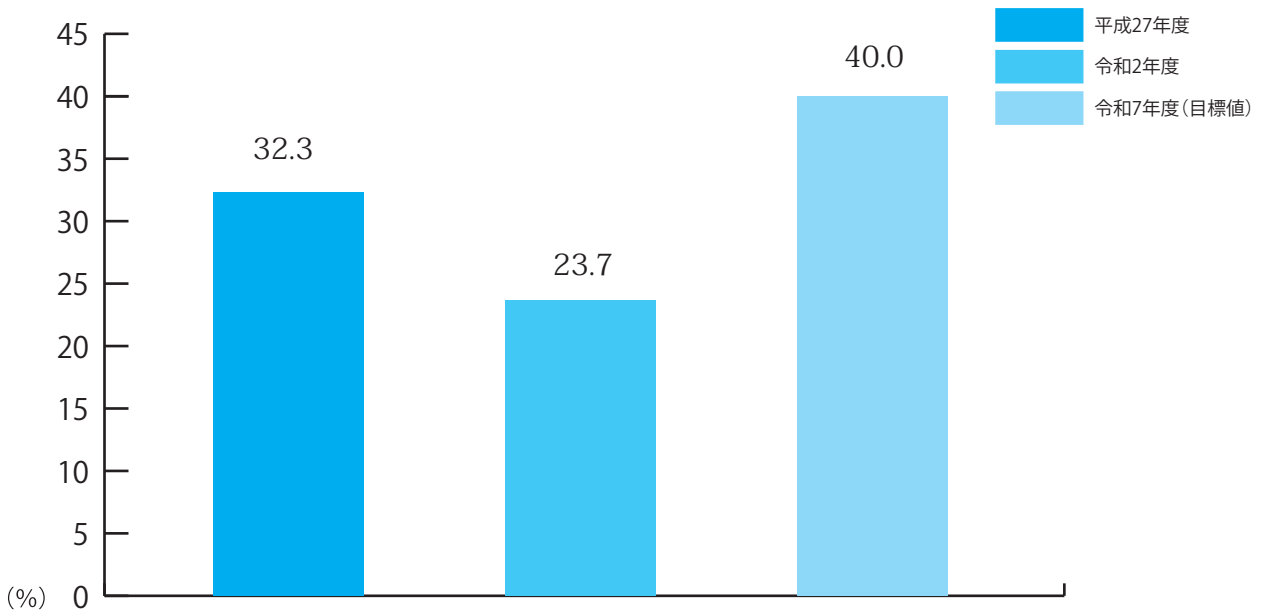
② 観るスポーツの実施率

2019年にラグビーワールドカップが日本で開催されました。また、東京オリンピック・パラリンピックの開催予定もあり、世界トップレベルの選手やプレーを間近で観て感じることができる機会が控えています。

令和2年度のアンケート調査で、年1回以上競技場に行きスポーツ観戦を行った者の割合は23.7％でした。令和7年度には年1回以上競技場に行きスポーツ観戦を行った者の割合を40％以上として目標値を定めます。

★年１回以上の頻度で、競技場等に行きスポーツ観戦を行う者の割合が４０％以上となるよう目指します。

表７　スポーツ観戦状況



＜スポーツ活動に関するアンケート調査より＞

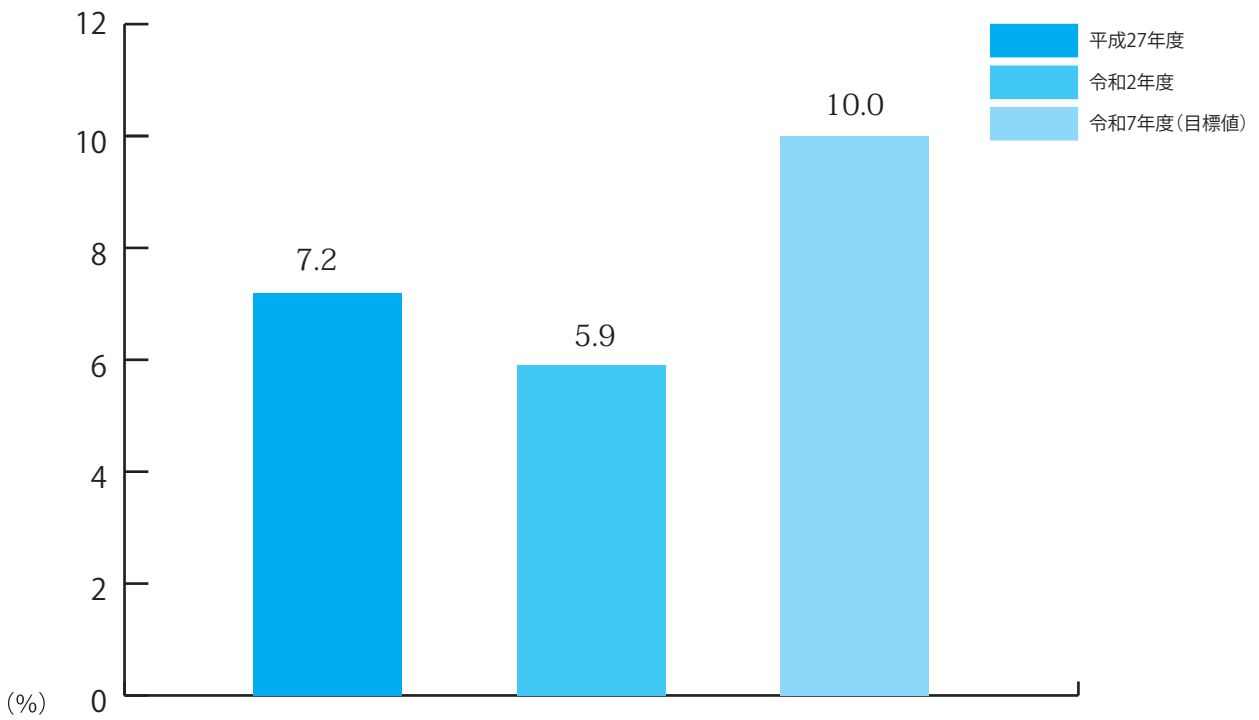
ホームタウン3市連携グランパス応援幕贈呈

③　支えるスポーツの実施率

2019年のラグビーワールドカップや2021年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックは、ボランティアの活躍できる場の提供を生み、ボランティアに関心が無かった市民を覚醒させる最大の機会であると言えます。令和2年度のアンケート調査で5.9％であった年1回以上スポーツの指導やボランティアを行った者の割合を令和7年度には10％以上となるよう目標値を定めます。

★年１回以上の頻度で、スポーツの指導やスポーツイベント等でのボランティアを行う者の割合が１０％以上となるよう目指します。

表８　スポーツ指導・ボランティア活動状況



＜スポーツ活動に関するアンケート調査より＞

スポーツイベントボランティア
（新春みよし市マラソン駅伝大会）

スポーツイベントボランティア
（みよしレクリエーションスポーツフェスタ）

(3) 計画期間

本計画の期間を平成28年度から令和7年度までの10年間とし、目指すべきスポーツの姿を実現するために他の計画と連携して進めていきます。

また、本計画の計画期間10年間において、具体的に施策を実行していくためスポーツ推進計画実施計画を別に定め、計画的に施策を進めます。

	計画	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
国	第2期 スポーツ基本計画													
県	いきいきあいち スポーツプラン				見直									
市	みよし市総合計画													
	みよし市教育 振興基本計画		策定					見直						
	みよし市スポーツ 推進計画		策定					見直						
	みよし市スポーツ 推進計画 【実施計画】		策定					見直						

(4) 本計画におけるＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）との関連

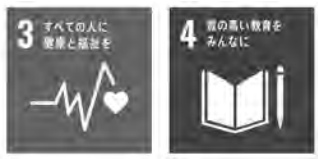
上位計画である「みよし市総合計画」では、持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）を踏まえた施策の推進を掲げています。

本計画においては、ＳＤＧｓの１７のゴールのうち特に関連する目標として目標３「すべての人に健康と福祉を」、目標４「質の高い教育をみんなに」を中心としています。

なお、第４章「スポーツ推進計画の施策」の各施策には、関連するＳＤＧｓの目標が示してあります。

第4章　スポーツ推進計画の施策

1 行うスポーツの推進



(1)　学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

第２章２「スポーツに関する現状と課題」で挙げたように全国的に子どもの体力は低下傾向が続いています。スポーツを行う子どもと行わない子どもの二極化が顕著になっており、全ての子どもにスポーツ活動を通して体力向上を図る機会を提供する必要があります。

ア　幼児期からの運動習慣の確立

幼児期から運動や遊びで体を十分に動かすことは、身体を強くし、生涯にわたって健康を維持することにつながると期待されています。心身ともに健康でたくましい身体をつくるとともに神経系の運動能力を高め、発育・発達を支え、楽しみながら多様な動きを身に付けることができる運動遊びプログラムを取り入れたスポーツ教室を実施します。

具体的施策

○幼児の親子体操教室などのスポーツ教室を実施し、親子が一緒になって体を動かす遊びや運動に関する情報を提供するための啓発活動に努めます。
○総合型地域スポーツクラブなどでの幼児期スポーツ教室、講座との連携を図ります。

イ　小中学生の運動習慣の確立

幼児期からの運動習慣を身につける機会を提供するとともに、スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、高校、大学、企業などが、放課後の小中学生のスポーツ機会の提供に努め、多彩なスポーツ活動が効果的、効率的に行われるための取り組みを推進します。

学校の運動部の活動は、スポーツに親しむ能力や態度を育て、体力の向上を図るだけでなく、児童生徒の自立性、協調性、責任感、連帯感などを育成するとともに、仲間や教員などとの密接なふれあいの場として大きな意義を有します。その意義を踏まえて部活動の充実を図ります。

部活動の現状は子どもが選択できる種目が少ないことが問題としてあげられます。総合型地域スポーツクラブ、ホームタウンパートナー、高校、大学などの協力を得ながら外部指導者を効果的に活用するなど、地域とともにある部活動を目指します。

体育の授業では、児童生徒の発達段階に応じて体を動かす楽しさや心地よさ、達成感を与え、運動好きな子どもを増やすとともに、多様な運動経験を通して体力の向上に努めます。

生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現するために、卒業後は少なくとも一つの運動・スポーツを継続できるよう学校体育の充実を図り、自分に合ったスポーツを見つけられるように各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。

具体的施策

○スポーツ協会の加盟団体による各種スポーツ教室を実施します。
○みよし市スポーツ少年団の加盟を促進し、少年団同士の連携を深め、スポーツをする機会を増やします。
○「カヌーのまち　みよし」を推進し、三好池カヌーセンターと保田ヶ池公園カヌーポロ競技場管理事務所をカヌー競技の拠点として、小中学生がカヌーをする機会をつくります。
○夏休み期間に市内8小学校のプールを一般開放し、小中学生が水泳をする機会をつくります。
○三好高校の地域連携開放講座の受入れや大学との包括的な連携の協定のもと、小中学校の体育の授業や部活動などに関わり、相互に協力しながら運動好きな子どもを増やし、生涯続けられる運動、スポーツを習慣づけます。

ウ　障がいのある子どもの運動習慣の確立

特別な支援を必要とする児童生徒のスポーツ活動を推進するため、学校と地域のスポーツ関係者の連携を図ります。

具体的施策

○学校などと連絡調整し、障がいのある子どもが参加できるレクリエーションスポーツイベントを開催します。
○学校などの依頼に応じ、レクリエーションスポーツなどの指導にスポーツ推進委員を派遣します。
○障がいのある子どもの健康と体力の維持増進を目的として行われる療育体操などの任意事業を支援します。

(2)　ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

子どもから大人、高齢者や障がいのある人など、市民の誰もが年齢や技術、体力、性別などにかかわらず、いつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しむことは、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできないものです。このような観点から、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。また、スポーツには日常の中で楽しんで実施する身体活動（ウォーキング、散歩など）も含まれることを共有し、スポーツそのものの捉え方についての認識の情報発信をしていきます。

みよし市スポーツ少年団とドラゴンズＪｒとの交流戦

ア　若者をはじめとした成人のスポーツ参加機会の拡充

生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに努め、成人の週1回以上のスポーツ実施率65％を目指すとともに、成人のスポーツ未実施者（1年間一度もスポーツをしない者）の数がゼロに近づくことを目標に掲げ、生涯スポーツ社会の実現を目指します。

具体的施策

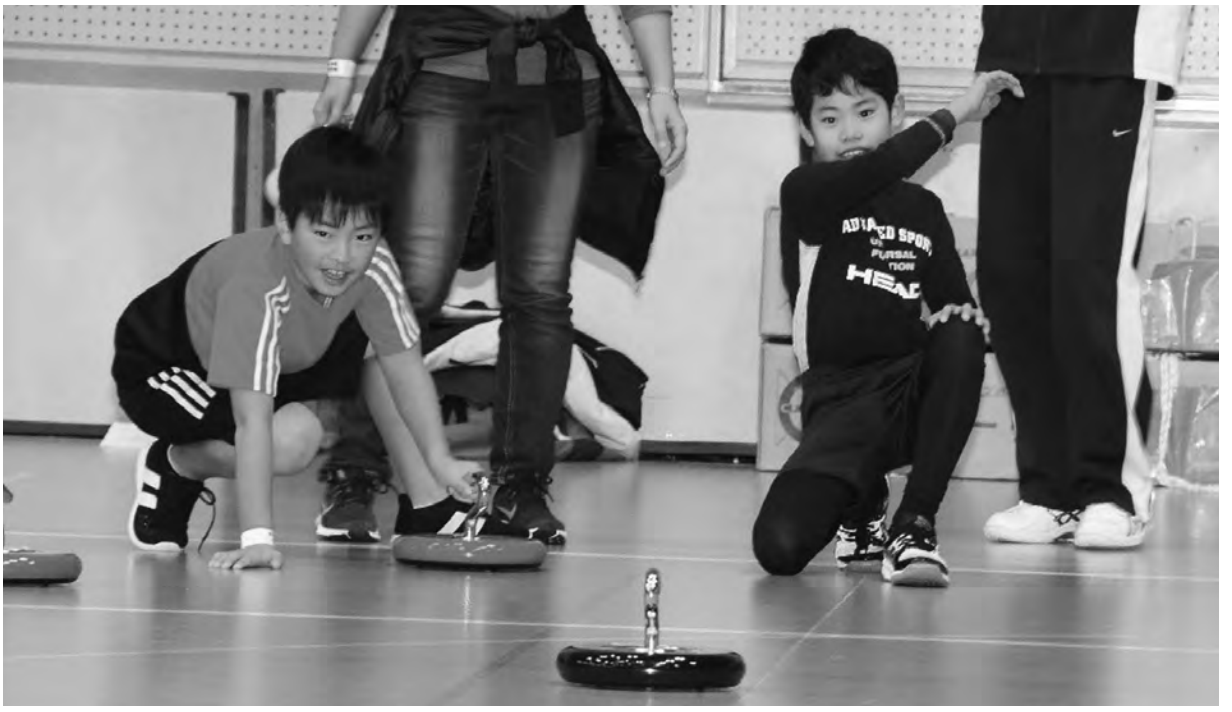
○学校体育施設スポーツ開放の効率的･効果的な利用を図ります。
○新規加入者を受け入れ可能な学校体育施設スポーツ開放利用団体をホームページで紹介し、スポーツ未実施者にスポーツをする機会をつくります。
○総合体育館トレーニングルーム内に専門的な知識を持つトレーナーを配置し、日常的なトレーニング指導、アドバイスをしながら運動をする機会をつくります。

イ　障がいのある人も気軽に参加できるスポーツイベントの開催

地域スポーツ関係者と連携しながら、親子や家族がともに参加することができ、また障がいのある人なども気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、スポーツ未実施者等がスポーツを実施するきっかけづくりを行います。

具体的施策

○誰でもできるレクリエーションスポーツを推進し、スポーツ推進委員が実技指導を行います。
○親子や家族、障がいのある人なども気軽に参加できるカローリング交流会やレクリエーションスポーツフェスタを開催します。
○体力つくりを趣旨とする体育祭、マラソン駅伝大会などを実施していきます。
○総合型地域スポーツクラブでのスポーツを通じた交流や仲間づくりを支援します。
○身近な施設である小中学校の体育館や中学校の武道場を開放し、スポーツができる環境づくりを推進します。



みよしレクリエーションスポーツフェスタに参加した子どもたち

ウ　スポーツ実施率の低い働き盛りの年齢層のスポーツ機会の拡充

スポーツ実施率の低い子育て期にある女性がスポーツを楽しむことは自らの健康増進に役立つだけでなく、子どもにも好影響を与えスポーツ好きな子どもの育成につながります。

また、スポーツ実施率の低い20歳から40歳代の働き盛りの世代の人が積極的にスポーツに親しむことができるよう、運動の重要性や健康との関わりを社会に啓発するとともに、職場における「ノー残業デイ」の設置の呼びかけを行います。あわせて、スポーツを習慣づけられるようなイベント（例：笹川スポーツ財団による「チャレンジデー」）を実施します。

具体的施策

○親子で一緒に運動するスポーツ教室を実施します。
○運動、スポーツによる健康づくりの重要性や、職場における「ノー残業デイ」の設置の呼びかけを広報やホームページで発信します。
○「チャレンジデー」を実施し、職場などへの参加を啓発します。

エ　高齢者の体力つくり支援

生涯を通じて明るく豊かで活力のある健康的な生活を送ることは、全ての人の願いです。運動・スポーツを通じて健康寿命を延ばし、高齢者が元気にいきいきと暮らし続けることができるよう、健康づくりや生きがいづくりの支援を進めます。

具体的施策

○保健師や健康運動指導士を総合体育館トレーニングルームに配置し、運動による生活習慣病及び介護予防対策を図ります。
○みよし市健康ウォーキングマップを啓発し、ウォーキングの普及に努めます。
○高齢者向けの世代交流サッカー健康教室等の開催を支援します。
○市やスポーツ推進委員、スポーツ団体等と連携し、ニュースポーツやウォーキングのイベントを開催します。
○地元大学と地域が連携し、高齢者向けスポーツイベント等を開催します。

(3)　市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備

ア　地域が連携するスポーツ環境づくり

行政だけでなく市民、スポーツ団体、地域、地元企業や高校・大学等が、積極的にスポーツ活動に係わり、共助の精神で活動を行う「新しい公」を推進し、生涯スポーツ社会の実現を目指します。また、競技スポーツだけでなく、健康・体力つくりを目的としたスポーツ活動、そして、文化・福祉活動を含めた総合的な活動を展開することで、地域の活性化を推進します。

具体的施策

○地域と企業・高校・大学などが連携し、総合型地域スポーツクラブの活動の中で、トップアスリートや指導者、スポーツ医・科学研究者等の外部資源を地域に還元します。
○地域スポーツの基盤である総合型地域スポーツクラブの安定した事業展開を確保するため、クラブの法人化を支援します。
○スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの活動、取り組みから生まれる様々なスポーツ団体が継続して活動できるよう支援します。

イ　総合型地域スポーツクラブの周知

市民及び学校・スポーツ団体に対して、クラブの趣旨、特徴、地域との係わり方を広く啓発し、理解を深める機会をつくります。

具体的施策

○市内小中学校の児童生徒にクラブの事業を紹介するリーフレットやチラシなどを配布します。
○広報、ケーブルテレビで活動を紹介します。

ウ　総合型地域スポーツクラブの支援

現在、市内に3クラブが存在し活動を行っていますが、引き続きその運営に対し支援します。

具体的施策

○総合型地域スポーツクラブの運営に対し継続支援します。
○総合型地域スポーツクラブの拠点施設を確保するため関係機関と協議しながら連携して施設整備を進めます。

エ　総合型地域スポーツクラブの育成

持続可能なクラブ運営を支援するため、クラブマネジャー、質の高い指導者などの人材の養成・育成に努めます。また、総合型地域スポーツクラブに必要な情報を提供していきます。

具体的施策

○日本スポーツ協会公認のクラブマネジャーやアシスタントマネジャー資格等が得られるセミナーの受講を推進します。
○スポーツ実施アンケート調査で得られる情報を提供します。

⑷　学校と総合型地域スポーツクラブが連携した子どものスポーツ環境の整備

ア　学校のスポーツ環境整備

総合型地域スポーツクラブの活動は、限られた公共のスポーツ施設では難しいため、学校などの施設を有効活用し、小中学生を対象としたスポーツ教室の開催を支援します。

具体的施策

○総合型地域スポーツクラブへ不足している活動場所の聞き取りを行い、充実したスポーツクラブ運営を支援します。

イ　学校と総合型地域スポーツクラブの連携

学校と総合型地域スポーツクラブの連携のあり方を研究します。

具体的施策

○総合型地域スポーツクラブ指導者の小中学校の部活動との関わり方を深めます。
○総合型地域スポーツクラブに外部指導者を導入し、部活動に幅広い種目を導入します。

⑸　競技力の向上を目指す取組の推進

2021年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックや2026年に愛知・名古屋で開催されるアジア競技大会などの国際競技大会、国民体育大会、全国障がい者スポーツ大会などの競技会は、市民に大きな感動を与え、スポーツへの強い関心を高める原動力となります。そのために、活力ある「みんなでスポーツ　いいじゃんみよし」の実現を目指した競技スポーツの更なる充実、普及・推進に取り組みます。

ア　ジュニア選手の発掘・育成・強化

ジュニア期は、生涯にわたってスポーツライフを実現するための資質や能力を養う年代であり、発達・発育レベルに応じた適切な指導が大切です。将来性豊かなジュニア期において、個人の特性を見極め、優れた素質を有する選手をアスリートとして成長させるためには、一貫した強化指導が求められます。競技スポーツ団体（スポーツ協会、カヌー協会等）と市が連携し、選手や学校、会社、家庭などに理解を得ながらトップアスリートの育成に努めていきます。

具体的施策

○スポーツ協会加盟の各連盟・協会及びカヌー協会が、将来有望な選手を対象に強化練習会を開催し、アスリートの育成に努めます。

イ　スポーツ指導者及び審判員等の養成

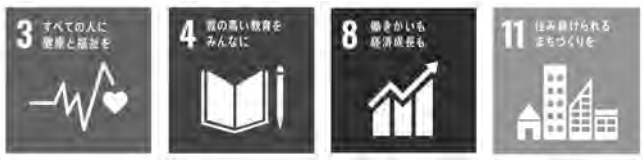
競技力を高めるためには、各競技におけるスポーツ指導者及び審判員の養成が不可欠です。市は、スポーツ指導者を増やすためスポーツ指導者講習会を開催するとともに、（公財）日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者や県の指導者養成講習会への参加も促進します。

具体的施策

○地元大学と連携してスポーツ指導者講習会を開催します。
○カヌー競技の審判員を養成するために講習会を開催します。

三好池カヌースプリント競技場では数多くの競技会が開催される
（スプリングスプリントカヌー競技大会から）

2 観るスポーツの推進



(1) 全国大会などの開催

ジュニア期の選手や青少年にとって、国を代表するアスリートや指導者に接することは、競技への意欲を高め、将来への大きな夢を抱くことにつながります。また、スポーツ観戦など、スポーツに触れる機会を増やすことで競技者だけでなく、市民がスポーツの魅力を肌で感じることができます。このようなことから、市民の夢と希望を育み、地域を盛り上げることができるようなスポーツイベントの推進体制を整え、全国大会などの開催を実施していきます。

具体的施策

○カヌースプリント、カヌーポロ競技などの全国大会を開催します。

(2) トップスポーツの試合観戦の推進

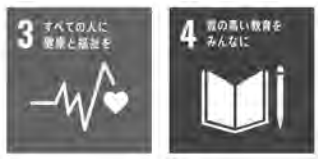
近隣や市内で行われるホームタウンパートナーのホームゲーム公式戦や大会を広く周知します。

また、名古屋グランパスの協力を得てＪリーグ公式戦を親子で観戦できる機会をつくることや、スポーツ協会の加盟団体がそれぞれ実施するトップ選手との交流の機会など積極的に活動を支援していきます。

具体的施策

○近隣や市内で行われるホームタウンパートナーの公式戦、大会などを広く周知していきます。
○Ｊリーグ親子サッカー観戦事業を継続実施します。
○スポーツ協会加盟団体が実施するトップ選手との交流活動を支援します。

3 支えるスポーツの推進



(1) 指導者の養成

ア 団体等の指導者の養成

スポーツ協会の競技団体やカヌー協会、総合型地域スポーツクラブに技術力の高い指導者を確保し、各団体の活性化や魅力の向上を図っていくためにスポーツ指導者講習会を開催し、指導者の養成に努めます。

具体的施策

○指導者としての知識と技術を養うため、協会や団体関係者に加え地元高校生、大学生、カヌー協会や各スポーツクラブのコーチ・監督並びに支援者などを対象にスポーツ指導者講習会を実施します。

イ 指導者の資質向上

指導者の質の向上を目指し、スポーツ関係団体と連携を図り、公的資格の取得を支援します。

具体的施策

○日本スポーツ協会公認のスポーツ指導者資格等を得られるセミナーの受講を推進します。

(2) ボランティアの育成

ア スポーツイベントボランティアの活動支援

スポーツイベントの運営に携わるスポーツイベントボランティアの登録制度により、意欲のあるボランティアの参加を求めます。

また、ボランティアの活動の場を提供するとともに、イベント自体の運営を支援していきます。

具体的施策

○スポーツイベントボランティアの情報をホームページなどで発信します。
○体育祭、マラソン駅伝大会、レクリエーションスポーツイベント、カヌー競技全国大会などで活動の場を提供します。

⑶　スポーツ情報の提供

ア　さまざまなスポーツ情報を市民に提供

スポーツイベントの開催内容やみよし市出身のスポーツ選手の成績、効果的なトレーニングに関する情報やいざという時の応急手当の方法について、最新の情報をホームページや各種メディアを通して提供し、スポーツに対する関心を高めます。

具体的施策

○スポーツイベントの開催内容を広報やホームページに掲載し多くの市民に周知していきます。
○みよし市出身のスポーツ選手の成績などをホームページで紹介します。
○スポーツ医学の知識やケガをしたときの応急手当の方法をホームページに掲載します。
○最新のトレーニング法やストレッチ法、テーピングによるケガ予防法など、有効な情報をホームページで提供します。

イ　施設利用の促進

公共施設予約システムの充実を図り、スポーツ活動のための公共施設の利用申込みをインターネットを利用して容易にできるようにします。

具体的施策

○施設予約システムを改修し、利用者の利便性を高めます。

4 スポーツ環境の整備

利用者のニーズに沿った施設の改修を進めるとともに照明設備のＬＥＤ化など維持管理コストの低減を考慮した施設の改修に努めます。

ア　スポーツ施設大規模改修計画の推進

老朽化した総合体育館（昭和59年建築）、陸上競技場（昭和43年建築）、野球場（昭和46年建築）、旭グラウンド（平成5年建築）、三好池カヌーセンター（平成5年建築）の大規模改修計画を作成し、計画的に改修を進めていきます。

具体的施策

○総合体育館のトレーニングルームを拡張し、指導員が常駐します。また、トレーニング指導及びスポーツ教室を開催し、ハード面とソフト面の両方の充実を図ります。
○三好公園野球場、陸上競技場、きたよしグラウンドなど屋外施設について、利用方法や配置を含めた全体的な大規模改修計画を作成し、計画的な施設の改修、更新を進めます。
○旭グラウンドを天然芝から人工芝へ改修します。
○三好池カヌー競技場のコースを再整備します。
○きたよし地区有料施設の貸出方法について、利便性が向上するよう検討します。

イ　スポーツ施設・設備・備品の安全点検と更新

スポーツ施設と設備・備品点検を実施し、老朽化して安全性を欠くスポーツ施設、スポーツ器具備品や設備など危険性の高いものから順次更新を進めていきます。

具体的施策

○トレーニングルームの器具を更新し、高齢者や障がいのある人の利用に対応した器具を導入します。
○バスケットボールゴール設備等を更新します。

ウ　スポーツ施設再配置計画の策定

市内全域に点在する都市公園有料体育施設や社会体育施設、地区コミュニティ施設の整備について計画し、市民が安全、快適に利用できるスポーツ環境の維持及び充実を図るため、スポーツ施設再配置計画を策定します。

具体的施策

○みよし市スポーツ施設再配置計画を策定します。

5 スポーツ交流と連携

スポーツを通した子どもたちの地域間の交流は、コミュニケーション能力の醸成に役立ち、また、他の地域の文化に触れることで見聞を広げ、生涯にわたる友情を手にすることにもつながり、子どもたちにとっては貴重な経験の場となります。市はスポーツによる青少年の健全育成とスポーツイベントを開催し、交流の場を提供します。

ア　スポーツを通した交流・連携

友好都市提携に基づく北海道士別市と長野県木曽町とのスポーツ交流を実施します。

具体的施策

○みよし市スポーツ交流団（野球・サッカー・バスケットボール）を派遣します。
○士別市野球交流団・士別市サッカー交流団・士別市バスケットボール交流団を受入します。
○長野県木曽町で開催されるマラソン大会への参加及びボランティアとして協力します。

イ　団体交流事業の支援

スポーツ協会、カヌー協会の加盟団体による交流事業を支援します。

具体的施策

○協会及び加盟団体が実施する交流事業を助成します。

ウ　外国人のスポーツ推進

外国人が気軽にイベントに参加できる環境づくりを推進します。

具体的施策

○外国語表記を含む施設の案内看板の設置やパンフレット等を作成します。
○レクリエーションスポーツイベントの募集や参加に対して外国人に対応できるよう環境づくりを推進します。

令和２年度スポーツ活動に関するアンケート調査結果の概要

1　目　的

スポーツ活動に関するアンケート調査は、平成17年度から毎年を実施しており、本年度で16回目の実施となる。

この調査は、『みよし市スポーツ推進計画』に基づき、みよし市民のスポーツ活動の現況とスポーツ活動に対する考え方を把握することにより、スポーツ推進計画の策定及び生涯スポーツ推進を一層充実するための基礎資料とします。

2　方　法

⑴ 調査者：みよし市教育委員会

⑵ 調査対象：みよし市民で小学１年生以上の男女57,631人（令和2年7月1日現在）

ア　一般市民調査：無作為抽出1,018人（1.76％）

調査方法：郵送回収

調査期間：令和2年8月1日から8月21日

イ　障がい者調査

調査方法：愛知県立三好特別支援学校に依頼

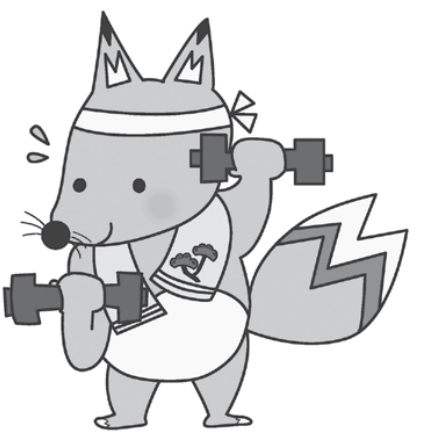
生徒（高等部）20人（内市民2人）

調査期間：令和2年9月

3　回収状況

⑴ 一般市民調査：回収数494通　／発送数　1,018通＝回収率48.5％

⑵ 障がい者調査：回収数2通/2通＝回収率100％



4　回答者の属性

【性別】　人（%）

性別 / 回答者数	男性	女性	未記入	合計
回答数	236（47.5）	259（52.3）	1（0.2）	496（100.0）

【年齢層別】　人（%）

性別 / 年齢層	男性	女性	未記入	合計
小・中学生	24　（4.9）	23　（4.6）		47　（9.5）
青年期：高校生～20 歳代	40　（8.0）	44　（8.9）		84　（16.9）
壮年期:30 歳代～50 歳代	102（20.5）	110（22.2）	1（0.2）	213　（42.9）
老年期：60 歳以上	70（14.1）	82（16.6）		152　（30.7）
合　計	236（47.5）	259（52.3）	1（0.2）	496（100.0）

【居住地区別】　人（%）

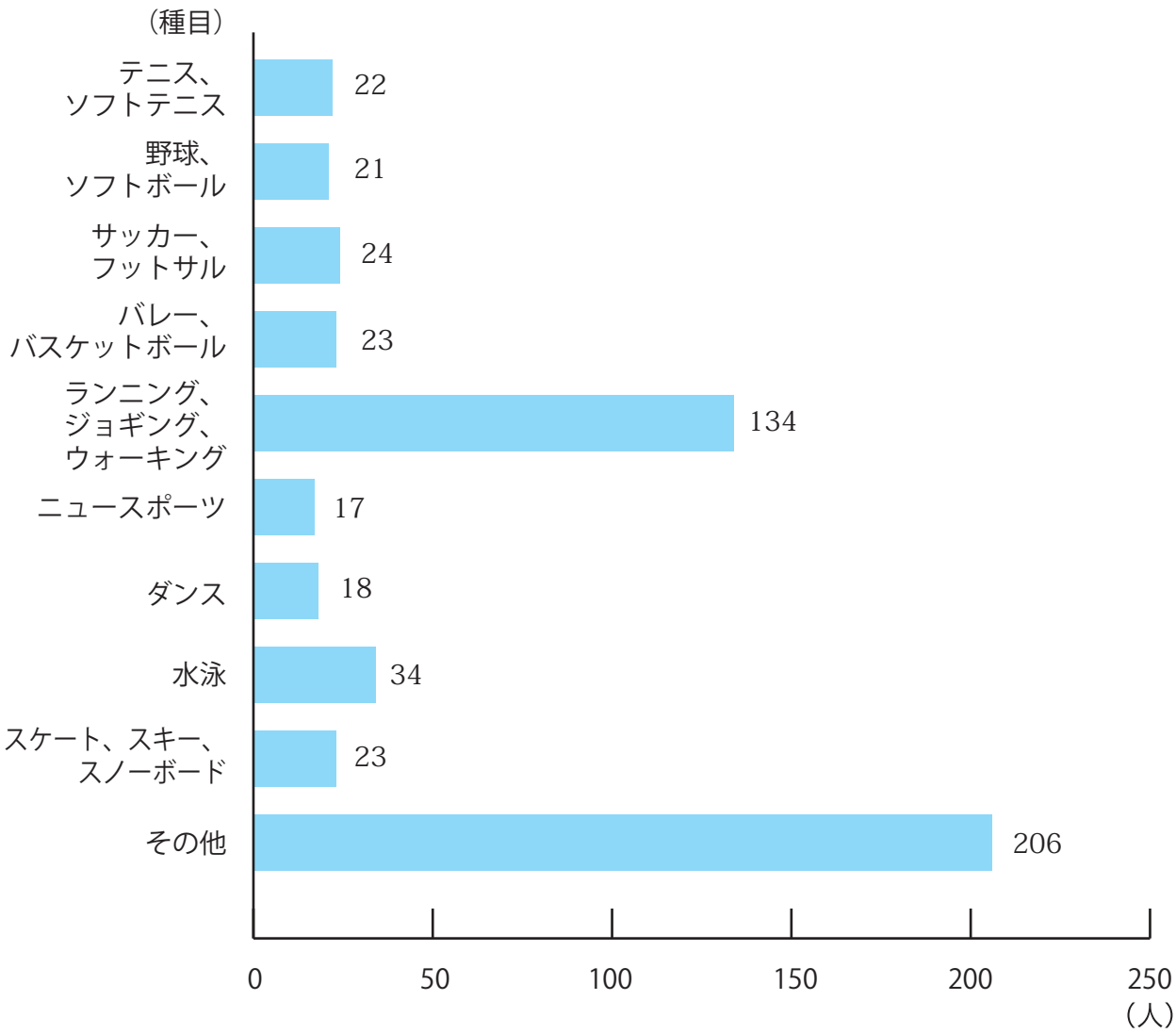
性別 / 地区	男性	女性	未記入	合計
おかよし地域	104（20.9）	104（20.9）		208　（41.8）
きたよし地域	23　（4.6）	31　（6.3）		54　（10.9）
なかよし地域	85（17.1）	96（19.4）	1（0.2）	182　（36.7）
みなよし地域	24　（4.9）	28　（5.7）		52　（10.6）
合　計	236（47.5）	259（52.3）	1（0.2）	496（100.0）

5　主な結果

行うスポーツの状況

問１　この１年間に行った運動やスポーツがあれば全部あげてください（複数回答）

◎１年間に運動やスポーツを行った人は、回答者の73.2％で、行った運動やスポーツの上位は、「ランニング、ジョギング、ウォーキング」、「水泳」でした。また「その他」として挙げられた種目は、卓球、エアロビクス、ヨガ、体操、登山、サイクリング、ドッジボール、ボウリング、バドミントン、太極拳、剣道、釣り、筋力トレーニング、護身術、シンクロなど様々でした。



※ニュースポーツとは、子どもから高齢者までを対象に「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に楽しめる」スポーツです。種類は数百種とありますが、みよし市では、カローリング、インディアカ、グラウンドゴルフなどが盛んに行われています。

問２　この１年間に行った運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、何日くらいになりますか

◎週1回以上定期的にスポーツ活動を行ったスポーツ実施率は、49.2％でした。
◎定期的ではないがスポーツ活動を行った24.0％を加えた73.2％の人が、何らかの運動やスポーツをしています。

人（％）

この1年間にスポーツ活動を	H30年度調査	R元年度調査	R2年度調査
定期的に行った（週1回以上）	45.2（208）	47.6（200）	49.2（244）
定期的ではないが行った	24.1（111）	28.1（118）	24.0（119）
行わなかった	29.8（137）	22.6　（95）	26.6（132）
未記入	0.9　（4）	1.7　（7）	0.2　（1）
合　計	100（460）	100（420）	100（496）

問３　この１年間に運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか（複数回答）

◎スポーツをした主な理由として、「健康づくり・体力づくりのため」と回答した割合は68.0％で、次いで「楽しみ・気晴らしのため」が54.2％、「運動不足を感じるから」が48.0％でした。

問４　この１年間に運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか（複数回答）

◎スポーツ活動を行わなかったと回答した人があげた理由として、「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」と回答した割合は53.5％あり、次いで「機会が無かった」が25.2％、「特に理由はない」が19.7％でした。

問５　現在行っているものを含め、今後行ってみたい運動やスポーツがありますか（複数回答）
上位５種目

（％）

行った、行ってみたい種目	
ランニング、ジョギング、ウォーキング	30.0
水泳	24.8
テニス、ソフトテニス	15.2
ダンス	12.4
スケート、スキー、スノーボード	11.3

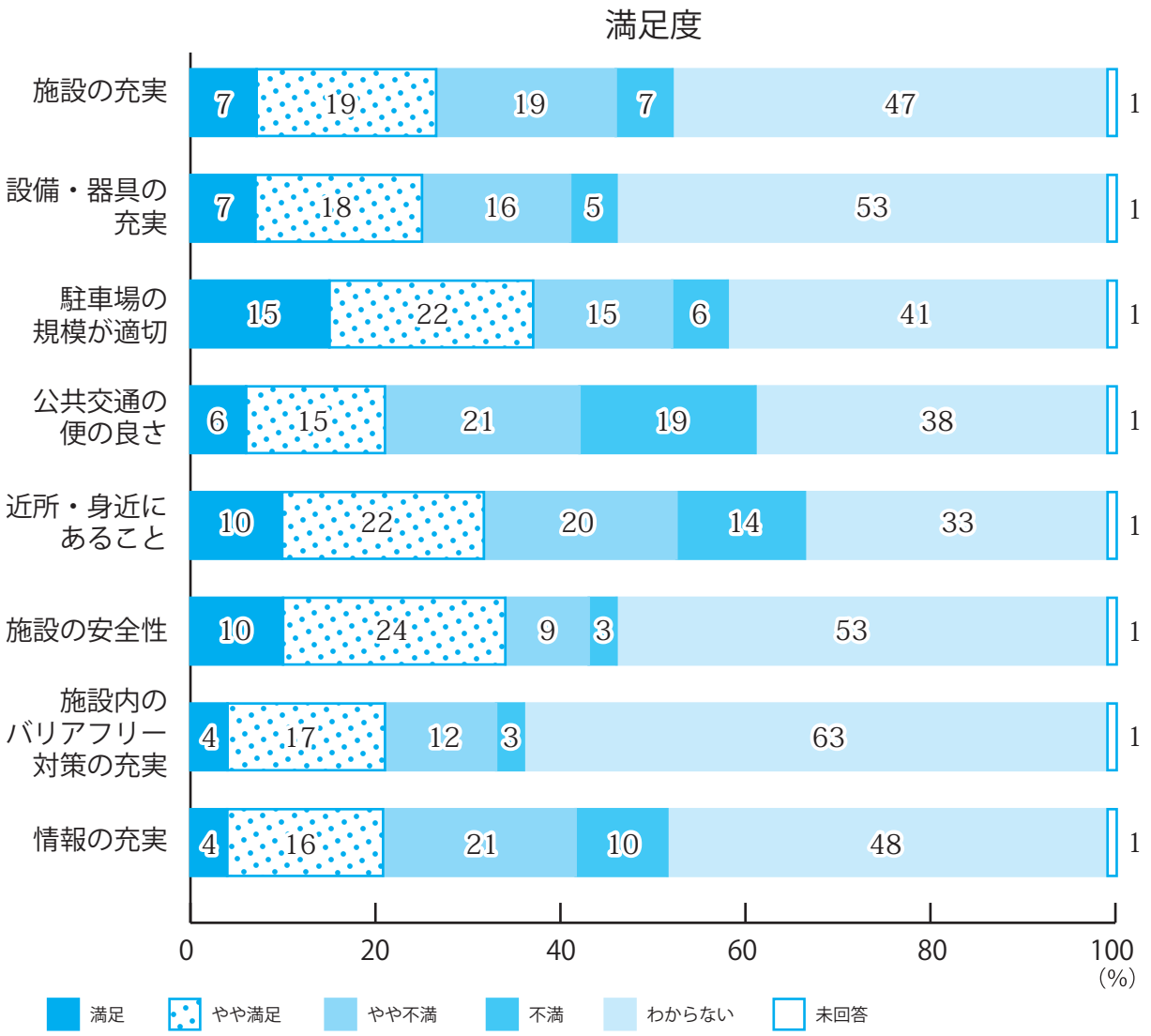
スポーツ施設について

問６　市立体育館、陸上競技場、テニスコートなどの公共スポーツ施設について何か望むことはありますか（複数回答）

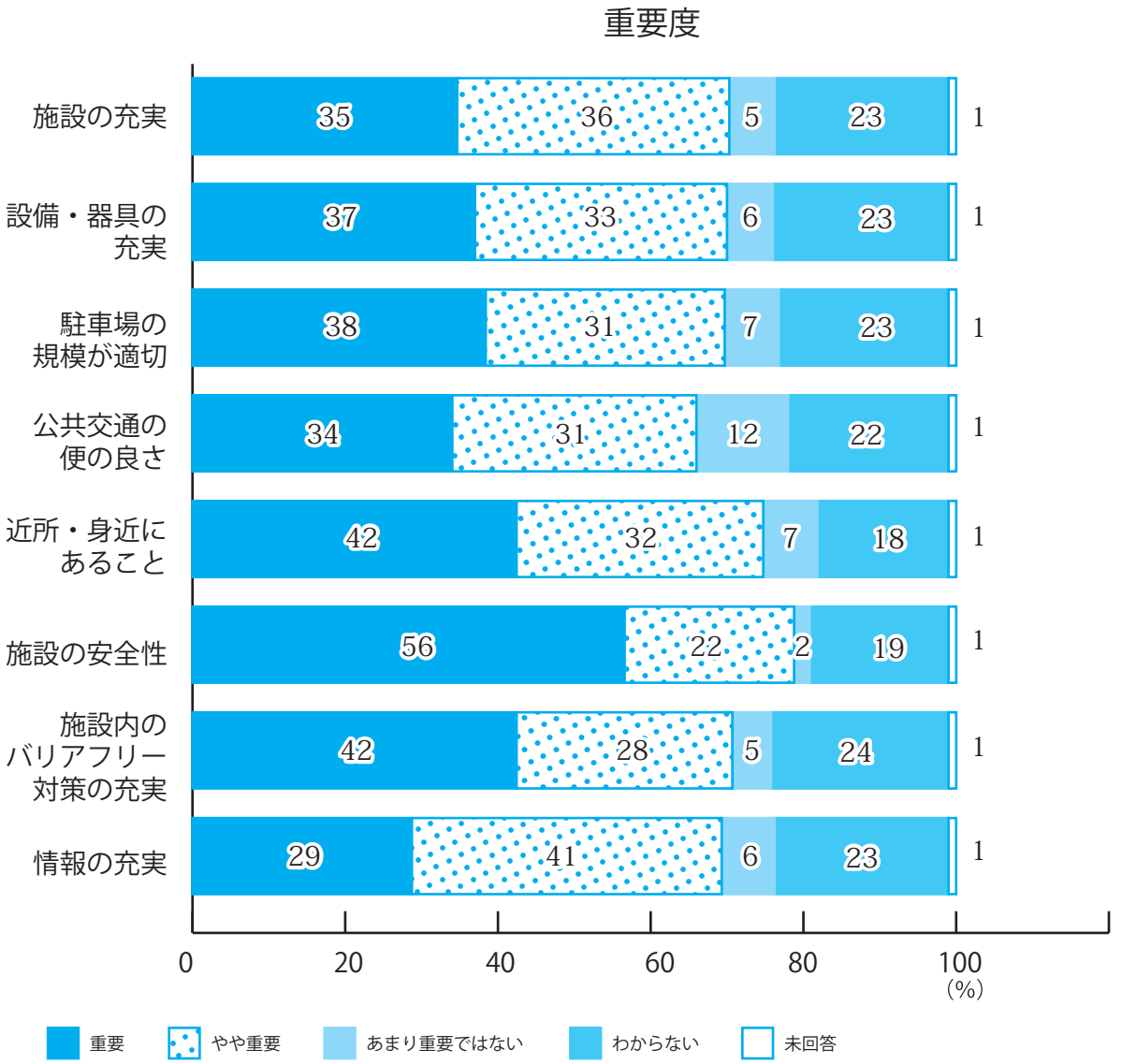
◎公共スポーツ施設に望むことは、「身近で利用できるよう、施設数の増加」(31.8％)が最も多く、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」(27.7％)、「利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）」(19.5％)と続きました。

問７　公共スポーツ施設の利便性や設備についての満足度、重要度

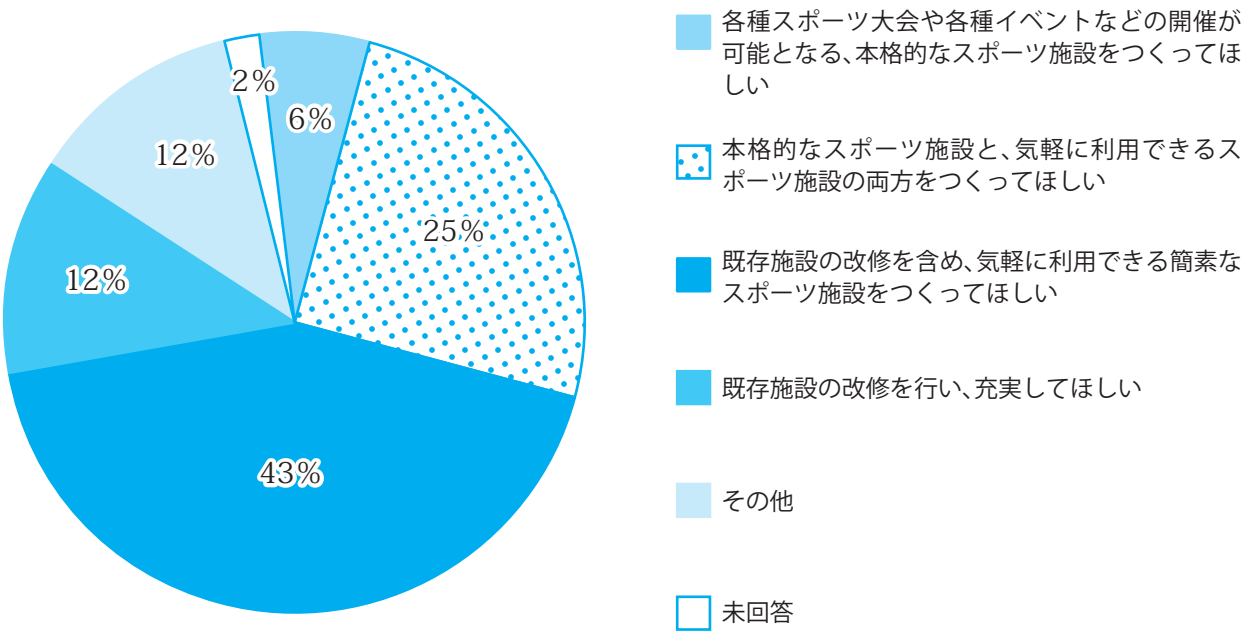
◎満足度は、「施設の充実度」、「設備、器具の充実」、「駐車場規模が適切」、「公共交通の便の良さ」、「近所、身近にあること」、「施設の安全性」、「施設内のバリアフリー対策の充実」、「情報の充実」の８項目について、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」で集計したところ、「駐車場規模が適切」に満足と答えた人（15％）が多く、「公共交通の便の良さ」について「やや不満」、「不満」と答えた人（40％）が多くいました。



◎重要度は、満足度同様８項目について、「重要」、「やや重要」、「あまり重要でない」、「わからない」で集計したところ、重要と答えた人が多かった項目は「施設の安全性」（56％）が最も多く、「近所、身近にあること」（42％）、「施設内のバリアフリー対策の充実」（42％）と続きました。



問８　スポーツ環境の整備・充実するために、これからの公共スポーツ施設づくりをどのように考えますか



問９　今後どの公共スポーツ施設を新たにつくっていくことが必要だと思いますか（主なものを３つまで選択可）

問10　今後どの既存公共スポーツ施設を回収していくことが必要だと思いますか（主なものを３つまで選択可）上位５施設

（%）

新設		既存施設の改修	
屋内プール	36.0	ウォーキング・ランニングコース	22.6
ウォーキング・ランニングコース	33.6	体育館	21.0
トレーニング施設	31.5	トレーニング施設	19.2
多目的広場	19.2	多目的広場	154
体育館	15.9	陸上競技場	8.3

観るスポーツの状況

問11、問12　この１年間に、競技場等に行きスポーツ観戦を行いましたか

人（%）

この1年間にスポーツ観戦を	H30年度調査	R元年度調査	R2年度調査
定期的に行った	4.9　(22)	2.4　(10)	3.0　(15)
定期的ではないが行った	31.1 (141)	30.9 (129)	20.7 (102)
行わなかった	63.2 (287)	65.2 (272)	76.3 (377)
未記入	0.8　(4)	1.5　(6)	0　(0)
合　計	100.0 (454)	100.0 (417)	100.0 (494)

問13、問14　この1年間に、テレビ等のメディアで、スポーツ観戦を行いましたか

人（%）

この1年間にテレビ等観戦を	H30年度調査	R元年度調査	R2年度調査
定期的に行った	19.6　(89)	23.3　(97)	21.9 (108)
定期的ではないが行った	60.6 (275)	48.4 (202)	43.7 (216)
行わなかった	18.0　(82)	25.2 (105)	33.8 (167)
未記入	1.8　(8)	3.1　(13)	0.6　(3)
合　計	100.0 (454)	100.0 (417)	100.0 (494)

スポーツ施設について

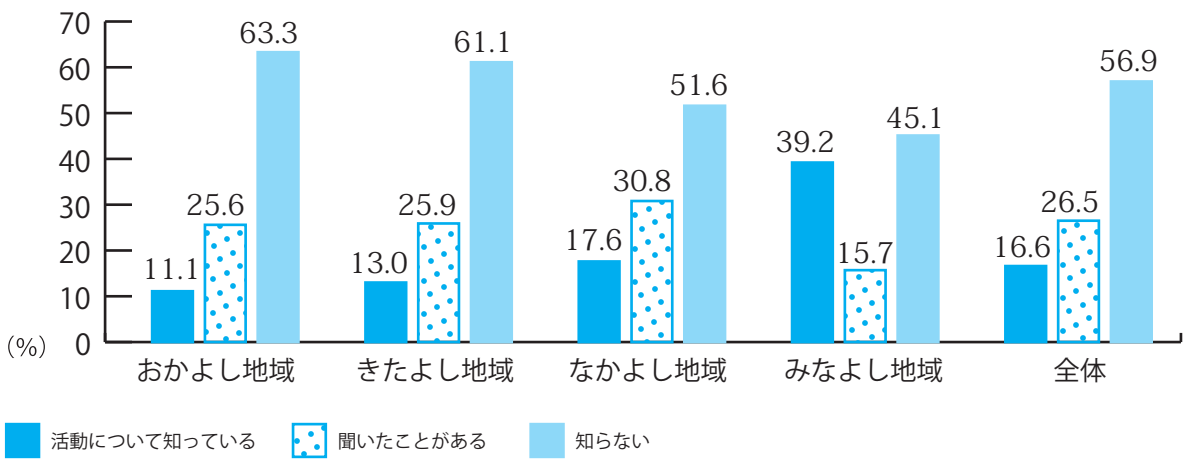
問15、問16　この１年間に、スポーツ指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか

人（%）

この1年間にスポーツボランティアを	H30年度調査	R元年度調査	R2年度調査
定期的に行った	2.2　(10)	1.9　(8)	1.0　(5)
定期的ではないが行った	5.6　(25)	6.5　(27)	4.9　(24)
行わなかった	91.6 (416)	89.7 (374)	93.7 (463)
未記入	0.6　(3)	1.9　(8)	0.4　(2)
合　計	100.0 (454)	100.0 (417)	100.0 (494)

市内総合型地域スポーツクラブについて

問17　市内に３つの「総合型地域スポーツクラブ」(三好ともいきスポーツクラブ、なかよしクラブ、三好さんさんスポーツクラブ)が活動していますがご存知ですか



問18　あなたは「総合型地域スポーツクラブ」に加入して活動することについてどう思いますか

◎「すでに加入している」と回答した人は7.7%、「機会があればぜひ加入したい」、「活動に興味はあるが加入にふみきれない」と回答した人は34.6%、「加入したいとは思わない」と回答した人は57.7%でした。

問19　今後どのような条件が整えば「総合型地域スポーツクラブ」に入りたいと思いますか（複数回答）

◎総合型地域スポーツクラブに加入していない人で、どのような条件であれば加入を検討するかの回答では、「時間的余裕があれば」という回答が一番多く、「家や職場の近くにあれば」、「会費が安ければ」という順に続いていました。

スポーツ振興について

問20　スポーツをもっと振興させるために、国や県または市町村に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか（複数回答）

◎地域におけるスポーツ振興に期待する効果では、「余暇時間の有効活用」が40.3％と最も多く、「地域のコミュニティの形成・活性化」(40.1％)と「高齢者の生きがいづくり」(39.2％)が続いていました。

生涯スポーツ、健康・体力つくりのあゆみ

昭和21年度	○第1回三好村体育大会（三好村連合青年会が開催）
昭和28年度	○文化祭村民体育大会（昭和の初期から開催していた連合運動会の名称変更）
昭和34年度	○町体育指導協会設置（指導委員7名） ○体育祭　伊勢湾台風のため中止
昭和37年度	○**三好町体育協会設置**（野球、卓球、ソフトボール、弓道の各部）
昭和38年度	○町体育協会へバレー部加入（5部） ○役場東館庁舎完成
昭和39年度	○体育大会（企画、実行は体育指導委員会と体育協会で開催） ○町体育協会へ陸上部加入（6部）
昭和40年度	○体育大会へ職場（企業）チーム加入 ○町体育協会へ柔道部、テニス部加入（8部）
昭和42年度	○体育大会「体育の日」に実施 ○三好公園の新設が決定され運動施設を中心とした施設整備が開始される
昭和43年度	○三好公園陸上競技場完成 ○町民体育大会の開催場所を三好中学校から三好公園陸上競技場へ移す
昭和44年度	○三好公園弓道場完成（10月）
昭和45年度	○町体育指導委員を7名から10名に増加 ○三好公園屋外プール完成
昭和46年度	○三好公園軟式野球場完成（4月）
昭和47年度	○三好町体育大会から三好町体育祭へと名称変更 ○マラソン大会を陸上競技連盟が企画・運営 ○体育協会の各部制から連盟制に編成変更（7連盟）
昭和48年度	○三好公園テニス場完成（4月） ○三好公園軟式野球場にナイター照明設置
昭和49年度	○スポーツ教室開始 　軟式テニス・婦人バレーボール・少年野球・ジュニア卓球・ジュニアバスケットボールの各教室 ○巡回スポーツ教室開催（S49～S51）フリーテニス ○三好町町民憲章制定
昭和50年度	○町民体育祭に実行委員会組織を設立 ○地域スポーツ活動振興指定市町村の指定を受ける（文部省よりS50～S51） ○体力つくり推進協議会発足（体育と健康の行政連携をはかる） ○マラソン大会を新春マラソン駅伝大会へと名称変更 　駅伝を加え実行委員会組織へ組織変更
昭和51年度	○学校体育施設スポーツ開放を町内の全小中学校で開始 ○体育協会へサッカー、バスケット、剣道、射撃の各連盟加入（11連盟）
昭和53年度	○体育協会へ少林寺拳法連盟加入（12連盟） ○派遣スポーツ主事の設置（S53～S55） ○町体育指導委員を10名から12名に増員 ○少年野球クラブ連盟協議会発足
昭和54年度	○町民歩け歩け運動の会開始（毎月第4日曜日に実施） ○ＮＨＫ夏期巡回ラジオ体操開催（全国放送される）

昭和54年度	**○体力つくり優秀組織表彰国民会議議長賞を受賞** ○体育協会へ空手道連盟加入（13連盟） ○町民体育祭での職場競技廃止
昭和55年度	○役場西館庁舎完成 ○東海郵政局、日本放送協会よりラジオ体操団体表彰
昭和56年度	○国民健康づくり計画モデル事業開始（西三河北部地域） ○スポーツに関するアンケート調査実施 ○スポーツ教室に高齢者スポーツ大学講座を新設 ○高齢者の健康知識とゲートボールの普及・促進
昭和57年度	○スポーツ振興審議会を設置 体育・スポーツの普及振興に関する基本方策についての諮問と答申 ○体力つくり国民運動モデル市町村の指定
昭和58年度	○ファミリースポーツ大会を開催（ヘルス・パイオニアタウン事業） ○健康まつり（年1回開催）
昭和59年度	○体育協会へ硬式テニス連盟加入（14連盟） ○社会教育課より社会体育部門を独立させ「スポーツ課」を新設 **○総合体育館の開館（6月）** 日本バレーボールリーグ女子チーム招待試合の開催（東洋紡×カネボウ） 第18回バスケットボール日本リーグ公式戦誘致開催（住友金属×熊谷組） ○町体育指導員を12名から14名に増員
昭和60年度	○卓球技術指導講習会開催（元世界チャンピオンの長谷川・伊藤の両氏） ○町民スポーツデーを設置　インディアカの普及促進 ○体育協会へソフトボール連盟加入（15連盟） ○健康ウォーク（東海自然歩道犬山方面） **○体力つくり優秀組織表彰内閣総理大臣賞受賞** ○日本バレーボールリーグ女子チーム招待試合（イトーヨーカドー×ユニチカ）
昭和61年度	○軟式庭球技術指導講習会開催 （世界選手権優勝の稲垣氏・全日本シングルベスト8の津田氏） ○第41回県民体育大会西三河地区大会開催（バレーボール） ○体育協会へゲートボール連盟加入（16連盟） ○スポーツ少年団西三河地区大会開催 ○日本バレーボールリーグチーム招待試合（日本鋼管×トヨタ自動車） ○バスケットボール日本リーグ公式試合 （日本通運×東芝〔女子〕・トヨタ自動車×日立本社〔男子〕・大和証券×新日鉄〔男子〕） ○健康ウォーク（東海自然歩道瀬戸方面）
昭和62年度	○少年野球教室（ヤクルト球団・船田コーチ、杉浦選手） ○第42回県民体育大会西三河地区大会（剣道） ○日本バレーボールリーグチーム招待試合（ダイエー×日本電装） ○第35回全三河軟式野球大会（22チーム参加） ○バレーボール技術指導講習会（元全日本バレーボールリーグ女子チーム （ユニチカ山田希代子選手・イトーヨーカドー久保田賀子選手） ○健康ウォーク（東海自然歩道　定光寺－猿投神社） ○第49回（平成6年開催）国民体育大会 会場地内定 （夏季大会＝カヌー競技・秋季大会＝ハンドボール）

昭和62年度	○スポーツ少年交流大会
昭和63年度	○町制施行30周年 ○スポーツ課に国体準備係が設置され国体準備始まる ○バスケットボール技術指導講習会 ○日中友好愛知県・江蘇省バスケットボール・バドミントン競技三好大会 ○体育指導委員会によるインディアカ普及事業を実施 ○第43回県民体育大会西三河地区大会（剣道） ○第49回国民体育大会カヌー競技連絡協議会設立（三好町・旭町・小原村） ○第49回国民体育大会競技種目誘致開催決議 ○体育協会へバドミントン連盟加入（17連盟）
平成元年度 （昭和64年度）	○バレーボール招待試合（ＮＫＫ×富士フィルム） ○第44回県民体育大会西三河地区大会（卓球） ○第49回国民体育大会三好町準備委員会設立 ○第14回日本ハンドボールリーグ公式戦誘致開催（大崎電気×日本ビクター　他2試合） ○社会体育関連調査実施 ○健康ウォーク（東海自然歩道　足助町・旭町方面）
平成２年度	○スポーツ技術指導講習会（柔道、ハーヒョンジュ） ○第12回バドミントン日本リーグ三好大会 （トヨタ自動車×トナミ運輸・三洋電機×ＮＴＴ東京） ○第15回日本ハンドボールリーグ公式戦誘致開催 （中村荷役運輸×トヨタ自動車　他2試合） ○第49回国民体育大会三好町準備委員会プロジェクト委員会設立 ○三好町体育協会総合体育大会開催
平成３年度	○体育協会へインディアカ連盟加入（18連盟） ○第15回日本ハンドボールリーグ公式戦誘致開催 （大同特殊鋼×湧永製薬・ジャスコ×ＪＵＫＩ） ○第49回国民体育大会開催決定 〔カヌー競技（レーシング）・ハンドボール競技（成年男子２部）〕 ○第49回国民体育大会三好町実行委員会設立
平成４年度	○スポーツ課より国体事務局を独立させ「国体室」を新設 ○三好町カヌー協会設立 ○みよし健康の道「三好公園トリムコース」設置 ○第49回国民体育大会三好町競技力向上対策本部設立 ○第49回国民体育大会会期決定 ○バドミントン技術指導講習会 （バルセロナオリンピック出場選手の捧氏・ヨネックスバドミントンチーム） ○第17回日本ハンドボールリーグ公式戦誘致開催 女子Ⅱ部 ソニー国分×日本ビクター／男子Ⅰ部 大同特殊鋼×トヨタ自動車 ○町体育指導委員を14名から16名に増員 ○三好池カヌーレーシング場完成（8月）
平成５年度	○’93三好杯ジャパンレディースカヌー競技大会（三好池） ○スポーツ技術指導講習会（インディアカ） ○旭グラウンド開き（旭グラウンド） ○第49回国民体育大会リハーサル大会を開催

平成５年度	平成5年度日本カヌーレーシングジュニア選手権大会（三好池） 全日本教職員ハンドボール選手権大会（総合体育館） ○優秀競技誘致事業（ハンドボール） 男子1部　トヨタ自動車×日本電装／男子2部　トヨタ車体×三陽商会
平成６年度	○'94三好カップ国際レディースカヌー大会（三好池） ○スポーツ技術指導講習会（グラウンドゴルフ・ゲートボール） ○旭グラウンド全面オープン **○第49回国民体育大会『わかしゃち国体』** 夏季大会　カヌーレーシング競技（三好池） 秋季大会　ハンドボール競技　成年男子2部（総合体育館） ○第49回国民体育大会三好町競技力向上対策本部解散 ○体育協会へグラウンド・ゴルフ協会加入（19連盟）
平成７年度	○'95三好カップ国際レディースカヌー大会（三好池） ○カヌーポロ指導講習会の開催 ○日本クラブジュニアユースサッカー選手権東海大会の開催（～H26）（旭グラウンド） ○三好町ゲートボール・グラウンドゴルフ場完成 ○ポスト国体事業として日本ハンドボールリーグ三好大会を開催（総合体育館）（～H23） ○新春三好町マラソン駅伝大会のスタートを三好ヶ丘駅に変更 ○陸上競技場照明塔設置
平成８年度	○'96三好カップ国際レディースカヌー大会（三好池） ○カヌーポロ指導講習会の開催 ○日本クラブジュニアユースサッカー選手権東海大会の開催（～H26）（旭グラウンド） ○三好町ゲートボール・グラウンドゴルフ場完成 ○ポスト国体事業として日本ハンドボールリーグ三好大会を開催（総合体育館）（～H23） ○新春三好町マラソン駅伝大会のスタートを三好ヶ丘駅に変更 ○陸上競技場照明塔設置
平成９年度	○みよし健康の道「前田緑道コース」設置 ○'97三好カップ国際レディースカヌー大会（三好池） ○体育指導委員レクスポ実技研修会の実施（毎月） ○日本クラブジュニアユースサッカー選手権東海大会が日本クラブユースサッカー(U15)選手権東海大会に名称を変更し開催（旭グラウンド） ○全国中学生カヌー大会・全国少年少女カヌー大会（三好池） ○ねんりんピックリハーサル大会 ○西三河体育指導委員実技研修会の開催（総合体育館・三好池） ○少年フットサル東海大会（黒笹公園） ○保田ヶ池カヌーポロ競技場の整備
平成10年度	○みよし健康の道「三吉緑道コース」設置 ○'98三好カップ国際レディースカヌー大会 ○三好町スポーツ振興審議会開催「21世紀に向けた生涯スポーツの在り方」 ○体育指導委員による出前スポーツ教室の実施（子ども会や母親クラブの要請） **○三好町カヌー協会　カヌー競技の振興により「文部大臣賞」を受賞** ○日本カヌーポロ選手権・日本ジュニアカヌーポロ選手権大会の開催 ○IFC総会で2004年世界カヌーポロ選手権大会の三好町開催が決定 ○町制40周年事業Jリーグチェアマン川淵三郎氏の講演会開催（サンアート） ○町制40周年事業ヤクルトスワローズ「古田敦也選手の野球教室」開催

平成10年度	○町制40周年事業旭化成「後藤郁代選手のランナーズスクール」開催 ○新春三好町マラソン駅伝大会のスタートを緑丘小学校に変更 **○ねんりんピック'98愛知大会ウォークラリー競技を開催** ○第46回東海四県体指研究大会で三好町体指が発表（会場蒲郡市） ○保田ヶ池カヌーポロ競技場再整備
平成11年度	○'99三好カップ国際レディースカヌー大会（三好池） ○体育指導委員による出前スポーツ教室の実施 ○士別カップサフォークランド少年サッカー大会へ町内小学生混成チームを派遣（H11～） ○全国中学生カヌー大会の開催（三好池） ○日本カヌーポロジュニア選手権大会の開催（保田ヶ池） ○第47回東海四県体指研究大会で三好町体育指導委員が感謝状を受ける（熱海市） ○三好町スポーツ振興審議会「21世紀に向けた生涯スポーツの在り方」を答申
平成12年度	○'00三好カップ国際レディースカヌー大会（三好池） ○体育指導委員による出前スポーツ教室の実施 ○日本カヌーポロ選手権大会の開催（保田ヶ池） ○日本カヌーポロジュニア選手権大会の開催（保田ヶ池）
平成13年度	○'01三好カップ国際レディースカヌー大会（三好池） ○体育指導委員によるディスクゴルフ交流大会の実施 ○日本カヌーポロ選手権大会の開催（保田ヶ池） ○日本カヌーポロジュニア選手権大会の開催（保田ヶ池）
平成14年度	○'02三好カップ国際レディースカヌー大会（三好池） ○体育指導委員によるディスクゴルフ交流大会の実施 ○日本カヌーポロ選手権大会の開催（保田ヶ池） ○日本カヌーポロジュニア選手権大会の開催（保田ヶ池） ○総合型地域スポーツクラブ啓発事業として「三好町スポーツフォーラム」を開催（サンアート）
平成15年度	○'03三好カップレディースカヌー大会（三好池） ○体育指導委員によるディスクゴルフ交流大会の実施 ○第1回Eボート交流会の開催（H15～）（三好池） ○なかよし地区総合型地域スポーツクラブ（なかよしクラブ）設立準備会発足 ○なかよしクラブが総合型地域スポーツクラブの啓発事業として 「スポーツフェスティバル」を開催（三好中学校） ○町体育指導委員を16名から18名に増員
平成16年度	**○第6回世界カヌーポロ選手権大会2004三好の開催（保田ヶ池）** ○総合型地域スポーツクラブ「なかよしクラブ」を設立、活動開始（6月19日） ○なかよしクラブが総合型地域スポーツクラブの啓発事業として 「スポーツフェスティバル」を開催（三好中学校） ○体育指導委員によるディスクゴルフ交流大会の実施 ○町体育指導委員を18名から20名に増員
平成17年度	**○三好町スポーツ振興基本計画を策定（4月）** ○三好町スポーツ振興基本計画発表会を開催（サンアート） ○体育指導委員によるディスクゴルフ交流大会の実施 ○万博記念事業 カヌーポロ・Eボート交流大会の開催（保田ヶ池） ○みなよし地区総合型地域スポーツクラブ（みなよしクラブ）設立準備会発足
平成18年度	○スポーツ振興実施計画短期目標の取り組み開始（～H20年）

平成18年度	○町体育指導委員を20名から21名に増員（規則において定員を25名以内と定める） ○日本カヌーポロジュニア選手権大会の開催（保田ケ池） ○なかよしクラブによるスポーツゲームズin三好開催 （小中学生を対象に、往年の選手によるバスケットボール、バレーボール、野球、サッカー、卓球、ハンドボールの指導及び一般を対象に子どものスポーツ栄養学セミナー、元気に歩き続ける為の運動講座を実施） ○第1回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加 会場:愛・地球博記念公園　　成績：町村の部4位 ○体育指導委員によるディスクゴルフ交流大会の実施 ○三好池カヌー競技場乗艇桟橋改修
平成19年度	○体育指導委員による第1回三好レクリエーション・スポーツフェスタ2007の開催（H19～） ○JOCジュニアオリンピックカップ平成19年度全国中学生カヌー大会の開催 ○三好町で2つ目となる総合型地域スポーツクラブ「三好さんさんスポーツクラブ」 を設立し、会員募集及び活動開始（4月5日） ○体育協会による平成19年度スポーツ指導者認定講習会の開催 ○第2回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛・地球博記念公園） 成績：町村の部優勝
平成20年度	○三好公園有料運動施設の管理運営がみどりの推進課からスポーツ課へ移管される ○体育指導委員による第1回カローリング交流会の開催（H20～） ○総合型地域スポーツクラブなかよしクラブと三好さんさんスポーツクラブが合同でフェスティバル（カローリング交流会）を開催 ○三好町制施行50周年記念事業を開催 ・「桜マラソン」三好走ろう会 ・「弓道大会」三好町弓道連盟 ・「オリンピアン交流事業（大古誠司氏 バレーボール教室）」三好町体育協会 ・「グラウンド・ゴルフ大会」三好町グラウンド・ゴルフ協会 ・「平成20年度日本カヌーポロジュニア選手権大会兼高等学校カヌーポロ選手権大会」カヌー競技全国大会三好町実行委員会 ・「平成20年度三好町体育祭」三好町体育祭実行委員会 ・「平成21年新春三好町マラソン駅伝大会」三好町マラソン駅伝大会実行委員会 ○北京オリンピック出場選手（ハンマー投げ 室伏広治選手・サッカー 吉田麻也選手）応援会を開催（総合体育館） ○体育協会による平成20年度スポーツ指導者認定講習会の開催 ○第3回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛・地球博記念公園） 成績：町村の部優勝／第2回大会に続いて連覇 ○少年野球連絡協議会によるドラゴンズJr.・三好町少年野球交流会を開催（H20～）（三好公園） ○三好さんさんスポーツクラブが総合型地域スポーツクラブ活動支援事業としてスポーツ振興くじtotoの助成金を受ける（～H24年）
平成21年度	○スポーツ振興実施計画中期目標の取り組み開始（～H24） ○住民の健康増進と体力向上を目的に「きたよしグラウンド」を開設 ○体育協会による平成21年度スポーツ指導者認定講習会、テーピング講習会の開催 ○第4回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛・地球博記念公園）

平成21年度	成績：町村の部優勝／第2回大会から3連覇 ○主催団体を変更し体育協会によるドラゴンズJr.・三好町少年野球交流会を開催 （三好公園） ○平成22年1月4日市制施行 ○平成22年新春みよし市マラソン駅伝大会を市制施行記念事業として開催
平成22年度	○きたよし地区有料運動施設の管理運営をみどりの推進課から移管される ○日本カヌーポロジュニア選手権大会兼日本高等学校カヌーポロ選手権大会の開催 （保田ヶ池カヌーポロ競技場） ○みよし市体育祭　前日雨天によるグラウンド状況不良のため中止 ○愛知県グラウンド・ゴルフ協会会長杯東地区グラウンド・ゴルフ大会の開催（三好公園） ○第5回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛・地球博記念公園） 成績：市の部17位/37チーム ○みよし市フルコンタクト空手道がスポーツ少年団に加盟（5月）（13団）
平成23年度	○みよし市体育協会設立50周年記念式典を開催 ○みよし市体育協会設立50周年記念事業優秀競技者実技講習会を開催 （ミキハウス平野早矢香選手・淑徳大学石垣優香選手） ○日本ハンドボールリーグみよし大会の終了（総合体育館）（H7～H23） ○第6回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛・地球博記念公園） 成績：市の部13位/37チーム ○体育協会によるスポーツ指導者レベルアップ参加体験型研修の開催 ○「体育指導委員」の名称が「スポーツ推進委員」に変わる（9月規則改正） ○少林寺拳法がスポーツ少年団を脱会（5月）（12団） ○みよし市射撃連盟が体育協会を脱会（3月）（18団体）
平成24年度	○名古屋グランパスエイトのホームタウンに認定を受ける ○ロンドンオリンピック開催に併せパブリッグビューイングを開催 （ハンマー投げ、サッカー）計5回 ○日本カヌーポロ選手権大会、日本カヌーポロジュニア選手権大会兼日本高等学校カヌーポロ選手権大会の開催（保田ヶ池カヌーポロ競技場） ○第7回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛・地球博記念公園） 成績：市の部 19位/38チーム ○黒笹少年野球クラブがスポーツ少年団に加盟（3月）（13団） ○市スポーツ推進委員を21名から22名に増員
平成25年度	○三好公園総合体育館アリーナ床面改修工事 ○ソチオリンピックのショートトラックスピードスケート競技に、みよし市在住の清水小百合選手が出場され、団体の部で5位入賞 ○第8回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛・地球博記念公園） 成績：市の部19位/38チーム ○愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2013　西三河地区大会 グラウンド・ゴルフ競技およびゲートボール競技を開催
平成26年度	○三好公園総合体育館ペデストリアンデッキ改修・外壁改修工事 ○総合型地域スポーツクラブ「なかよしクラブ」設立10周年記念式典の開催（サンアート） ○体育協会によるスポーツ指導者講習会の開催（東海学園大学） ○日本カヌーポロジュニア選手権大会の開催（保田ヶ池カヌーポロ競技場） ○愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2014 西三河地区大会

平成26年度	ゲートボール競技を開催 ○西三河地区スポーツ推進委員連絡協議会実技研修会の開催 開催種目：カローリング、ファミリーバドミントン、Eボート、ポールウォーキング ○第9回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛･地球博記念公園） 成績：市の部24位/38チーム ○新春みよし市マラソン駅伝大会 駅伝地区対抗一般の部において新屋チームが30連覇を達成 ○日本クラブユースサッカー選手権(U-15)東海大会実行委員会の解散 ○市スポーツ推進委員を22名から23名に増員
平成27年度	○三好公園総合体育館受変電設備更新 ○三好公園総合体育館武道場照明設備更新・柔道場畳張り替え ○三好公園総合体育館第1駐車場　防犯照明灯設置 ○三好丘公園多目的広場改修工事 ○三好公園総合体育館　テニスコート改修完了・供用開始（11/1）（オムニコート　6面） ○三好公園総合体育館　体育センター照明設備更新 ○三好池カヌーセンター空調機更新 ○黒笹グラウンド多目的広場人工芝張り替え ○三好丘公園多目的広場グラウンド改修・ネットフェンス増設 ○（仮称）ともいきスポーツクラブ設立準備会　発足 ○平成27年度愛知県スポーツ少年大会西三河支部大会開催（みよし市） ○愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2015 西三河地区大会ゲートボール競技を開催 ○レクリエーション・スポーツフェスタ2015でスポーツ鬼ごっこを開催 ○みよし市体育祭　雨天により中止 ○第10回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛･地球博記念公園） 成績：市の部14位/38チーム ○平成28年新春みよし市マラソン駅伝大会 駅伝コース変更 ○みよし市スポーツ推進計画の策定（3月）
平成28年度	○三好公園体育センター改修工事 ○三好公園総合体育館トレーニングルーム増設・供用開始（12/8） ○あいち共同利用型施設予約システムの運用開始（1/3） ○三好公園総合体育館休憩所改修・移設 ○保田ヶ池堤体改修工事に伴い、三好池カヌー競技場にポロコート仮設設置 ○三好ともいきスポーツクラブ発足（6/18） ○3クラブによる総合型地域スポーツクラブ連絡会を開催（2/28） ○日本カヌーポロジュニア選手権大会の開催（保田ヶ池カヌーポロ競技場） ○みよし市と株式会社名古屋グランパスエイトとの相互支援協定（パートナーシップ協定）を締結（2/15） ○愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2016 西三河地区大会柔道競技を開催 ○みよし市体育祭　雨天により中止 ○第11回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛･地球博記念公園） 成績：市の部15位/38チーム ○スポーツ推進委員による第10回目となるレクリエーション・スポーツフェスティバル2016の開催（H19～）

平成28年度	○友好都市小学生スポーツ交流事業（サッカー）の士別市からの交流団受入が第10回となる ○友好都市小学生スポーツ交流事業（野球）の派遣が第15回となる
平成29年度	○みよし市体育祭　3年ぶりに開催 ○みよし市とトヨタ自動車サンホークスとホームタウン協定を締結（10/18） ○V･チャレンジリーグⅠ サンホークスホームゲームを三好公園総合体育館で開催（12/9） ○平成29年度愛知県スポーツ推進委員連絡協議会西三河地区理事・評議員研修会の開催 開催種目：ふらば～る、みよしスポーツ鬼ごっこ ○三好公園体育センター改修工事 ○保田ヶ池堤体改修工事に併せ、カヌーポロ競技場支柱塗装修繕 ○三好公園総合体育館外壁改修工事 ○弓道場防矢ネット改修工事 ○第12回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛･地球博記念公園） 成績：市の部13位/38チーム ○愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2017 西三河地区大会柔道競技を開催 ○平成30年新春みよし市マラソン駅伝大会駅伝の部に市民表彰を新設 ○学校体育施設スポーツ開放事業の実施曜日を拡大、日曜日も対象とする
平成30年度	○友好都市小学生スポーツ交流事業（サッカー）の士別市への派遣が第20回となる ○みよし市とアドマテックススフィアーズとホームタウン協定を締結（7/5） ○V.LEAGUE Division2 サンホークスホームゲームを三好公園総合体育館で開催（12/8） ○三好公園総合体育館ロビー等空調改修工事 ○第13回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛･地球博記念公園） 成績：市の部 21位/38チーム ○日本カヌーポロ選手権大会、日本カヌーポロジュニア選手権大会兼日本高等学校カヌーポロ選手権大会の開催（保田ヶ池カヌーポロ競技場）
令和元年度 (平成31年度)	○みよし市体育協会がみよし市スポーツ協会へ名称変更 ○みよし市体育祭　大型台風19号「ハギビス」の接近により中止 ○ゲートボール・グラウンドゴルフ場整備工事（供用開始：11/1～） ○三好池堤体耐震補強工事に伴うカヌースプリント仮設競技場を設置（保田ヶ池） ○第14回愛知県市町村対抗駅伝競争大会参加（愛･地球博記念公園） 成績：市の部 24位/38チーム ○V.LEAGUE Division2 サンホークスホームゲームを三好公園総合体育館で開催　（12/7、8） ○市制施行１０周年記念令和２年新春みよし市マラソン駅伝大会を開催 （ゲストランナー　森脇健児氏、柏原竜二氏） ○新型コロナウイルスの影響により、各施設の利用制限を実施 ○新型コロナウイルスの影響により、友好都市小学生スポーツ交流事業（野球・サッカー）の受入が中止
令和２年度	○三好公園総合体育館競技場空調設備更新工事 ○市制施行10周年記念卓球競技技術講習会を開催 （ミキハウス平野早矢香氏・愛知ダイハツ吉村真晴選手・協和キリン平野友樹選手） ○みよし市とトヨタ自動車ヴェルブリッツとホームタウン協定を締結（10/21） ○新型コロナウイルスの影響により、各行事の中止

令和２年度	（地域対抗ソフトボール大会、友好都市小学生スポーツ交流事業（野球・サッカー）派遣、カローリング交流会、みよし市体育祭、レクリエーション・スポーツフェスタ、新春みよし市マラソン駅伝大会） ○日本カヌーポロ選手権大会が中止（保田ヶ池カヌーポロ競技場） ○第15回愛知県市町村対抗駅伝競争大会が中止（愛・地球博記念公園） ○みよし市スポーツ推進計画改訂版の策定（3月）

卓球競技技術講習会

スポーツ少年交流団　ホームステイの家族と一緒に（北海道士別市にて）

公共スポーツ施設一覧

1　社会体育施設（管理担当課：スポーツ課）

施設名称	主な施設の種類	施設の規格等	付帯施設・設備					所在地（みよし市）	電話番号
			夜間照明	トイレ	更衣室	ベンチ	バックネット		
太陽の広場	多目的広場	面積　3,319㎡		○		○	○	福谷町東屋敷	—
旭グラウンド	グラウンド	面積　24,711㎡	○	○	○	○		三好丘旭五丁目1番地3	36-2955
ゲートボール・グラウンドゴルフ場	ゲートボール場	面積　2,708㎡		○				三好町井ノ花18番地1	34-3131
	グラウンドゴルフ場	ゲートボール場4面（グラウンドゴルフ場1面）		○					
きたよしグラウンド	グラウンド	面積　35,473㎡（軟式野球ソフトボール可）		○		○	○	福谷町西ノ洞	—

2　都市公園施設

施設名称	主な施設の種類	施設の規格等	付帯施設・設備					所在地（みよし市）	電話番号
			夜間照明	トイレ	更衣室	ベンチ	バックネット		
三好公園総合運動場	陸上競技場	400mトラック（面積　17,470㎡）	○	○		○	○	三好町池ノ原1番地	34-3131
	野球場	軟式野球（面積　13,000㎡）	○	○		○	○		
	テニスコート	人工芝　6面	○			○			
	弓道場	近的6人立　遠的3人立（面積　3,000㎡）		○					
	多目的広場	多目的広場（面積　3,000㎡）							
三好公園総合体育館	アリーナ	バレーボール3面（バスケット2面）床面積1,615㎡ 3階固定椅子・800席	○	○	○	○			
	剣道場	公式2面（床面積　480㎡）	○	○	○				
	柔道場	公式2面（床面積　480㎡）	○	○	○				
	卓球場	14台収容（床面積　418㎡）	○	○	○				
	ランニングコース	1周180m	○	○	○				
	トレーニング室		○	○	○				
	会議室		○	○					
三好池カヌーセンター	カヌー	カヌー艇置所		○				三好町東山209番地1	32-8558
		研修室	○	○					
保田ヶ池公園	ディスクゴルフコース	6ホール				○		三好町大慈山	—

施設名称	主な施設の種類	施設の規格等	付帯施設・設備					所在地（みよし市）	電話番号
			夜間照明	トイレ	更衣室	ベンチ	バックネット		
三好丘公園	多目的広場	面積　7,325㎡（少年軟式野球ソフトボール可）		○		○	○	三好丘四丁目	36-8625（きたよし管理事務所）
	テニスコート	2面（敷地　1,436㎡）		○		○			
三好丘桜公園	多目的広場	面積　12,042㎡（軟式野球ソフトボール可）		○		○	○	三好丘桜三丁目	
	テニスコート	2面（敷地　1,568㎡）		○		○			
黒笹公園	人工芝多目的広場	面積　7,579㎡	○	○		○	○	黒笹町	
境川緑地公園	サイクリングロード	延長4.3㎞		○				西一色町～福田町	—
	マレットゴルフ場	18ホール							

3　コミュニティ施設

施設名称	主な施設の種類	施設の規格等	付帯施設・設備					所在地（みよし市）	電話番号
			夜間照明	トイレ	更衣室	ベンチ	バックネット		
三好地区コミュニティ広場	多目的広場	面積　1,300㎡	○	○				三好町大坪	—
	テニスコート	2面（敷地　1,400㎡）	○	○		○			
北部地区コミュニティ広場	多目的広場	第1　2,000㎡	○	○				福谷町仲田	—
		第2　2,300㎡	○	○					
		第3　1,500㎡	○	○					
	テニスコート	2面（敷地　1,463㎡）	○	○					
南部地区コミュニティ広場	多目的広場	面積　10,000㎡（野球・ソフトボール・サッカー可）	○	○		○		打越町九蔵釜	—
	テニスコート	2面（板打ち可）（敷地　1,762㎡）	○	○					
	サブ広場	面積　2,800㎡		○					
	ゲートボールコート	2面		○					
西部地区コミュニティ広場	多目的広場	面積　1,800㎡	○	○				三好町植松下	—
天王地区コミュニティ広場	多目的広場	面積　5,000㎡	○	○				東山台	—

※コミュニティ施設のうち南部地区コミュニティ広場以外の施設の夜間照明は、4月1日から10月31日までの期間となります。

パブリックコメントの結果について

〇募集期間

令和３年１月５日(火)令和３年２月５日(金)まで

〇募集方法

郵便、ファクス、電子メール及び直接持参による方法

〇募集結果

⑴提出者数：０人

⑵提出意見数：０件

⑶その他質問：なし

みよし市スポーツ推進計画改訂版策定の経緯

令和２年度

月　日	内　容
5月27日(水)	第1回みよし市スポーツ推進審議会 ・スポーツ推進計画の見直しについて(諮問) ・みよし市スポーツ推進審議会委員長・副委員長の選任について
6月17日(水)	みよし市関係部局 ・スポーツ推進計画改訂版(案)の確認及び修正依頼
7月29日(水)	第2回みよし市スポーツ推進審議会 ・スポーツアンケート調査の実施について ・スポーツ推進計画改訂版(案)の策定について
8月1日(土)～ 8月21日(金)	スポーツ活動に関するアンケート ・小学生以上の市民1,000人を対象
11月5日(木)	第3回みよし市スポーツ推進審議会 ・スポーツ活動に関するアンケート調査の実施結果について ・スポーツ推進計画改訂版(案)について ・パブリックコメントの実施について ・スポーツ推進計画実施計画改訂版(案)について
11月12日(木)	みよし市関係部局 ・スポーツ推進計画改訂版(案)の確認及び修正依頼
1月5日(火)～ 2月5日(金)	パブリックコメント ・みよし市スポーツ推進計画改訂版(案)について
2月26日(金)	第4回みよし市スポーツ推進審議会 ・パブリックコメントの結果について ・スポーツ推進計画改訂版(案)について ・スポーツ推進計画実施計画(案)について
3月12日(金)	答申 ・みよし市スポーツ推進計画改訂版(案)について(答申)

みよし市スポーツ推進審議会委員名簿

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

氏　名	区　分	所　属	備　考
井澤（いざわ）　悠樹（ゆうき）	学識経験者	東海学園大学講師	
柴田（しばた）　雅文（まさふみ）	関係行政機関	スポーツ推進委員会代表（委員長）	
清田（せいた）　由雅（よしまさ）	学識経験者	スポーツ協会会長	
縄田（なわた）　亮太（りょうた）	学識経験者	愛知教育大学講師	
西垣（にしがき）　美貴（よしたか）	学識経験者	株式会社名古屋グランパスエイト	
大籔（おおやぶ）　正光（まさみつ）	学識経験者	トヨタ自動車株式会社	
水野（みずの）　伊津子（いつこ）	学識経験者	女性代表 （三好さんさんスポーツクラブ）	
太田（おおた）　律子（りつこ）	学識経験者	女性代表（スポーツ少年団）	
竹渓（たけたに）　葉子（ようこ）	関係行政機関	女性代表（スポーツ推進委員会）	
吉野（よしの）　嘉郎（よしろう）	関係行政機関	校長会代表（黒笹小学校校長）	

スポーツ推進審議会 諮問・答申

【諮問】

２み教ス第４５号
令和　２年５月１５日

みよし市スポーツ推進審議会　様

みよし市教育委員会

みよし市スポーツ推進計画の見直しについて（諮問）

みよし市スポーツ推進審議会条例第３条の規定に基づき、下記のとおり貴審議会の意見を求めます。

記

１　諮問事項
　みよし市スポーツ推進計画の見直しに関すること

【答申】

令和３年３月１２日

みよし市教育委員会　様

みよし市スポーツ推進審議会
委員長　井　澤　悠　樹

みよし市スポーツ推進計画改訂版について（答申）

令和２年５月１５日付け、２み教ス第４５号にて諮問のありましたことについて、慎重に協議した結果、別添のとおり「みよし市スポーツ推進計画改訂版案」を取りまとめましたので答申します。

スポーツ推進計画の推進にあたっては、市民が楽しく豊かな人生が送れるよう、スポーツによる健康づくり、まちづくりを進め、基本理念である「みんなでスポーツ　いいじゃんみよし」の実現に努められるよう要望します。

みよし市健康づくりキャラクター
「キューちゃん」

みよし市教育委員会　教育部スポーツ課

〒470-0224
愛知県みよし市三好町池ノ原1番地
三好公園総合体育館内

電　話　0561-32-8027
ＦＡＸ　0561-34-6030
メール　sports@city.aichi-miyoshi.lg.jp